

ISSN 0286-5890

弘前大学保健管理概要

第39号



2018年

弘前大学保健管理センター

目 次

巻頭言：弘前大学保健管理センター所長	高 梨 信 吾	3	
I 報 告			
大学生におけるインターネット依存傾向と精神的健康についての検討 A Study on Internet Addiction and Mental Health for University Students			
	弘前大学保健管理センター 高 橋 恵 子	5	
II 平成29年度保健管理業務報告			
1. 保健管理センター年間行事		13	
2. 保健管理センター業務対象学生及び職員数		15	
3. 学生の健康診断		16	
4. 職員の健康診断		25	
5. 教育学部附属学校定期健康診断受検状況		34	
6. 保健管理センター月別利用状況		35	
III 平成29年度カウンセリング報告			37
IV 保健管理センター概況			39
V 衛生管理者等名簿			41
編集後記			43

巻 頭 言

弘前大学保健管理概要39号をお届けします。

多くのアスリートが2020年東京オリンピックを目指して活躍しています。

スポーツが生活習慣病を減らすことから、国際オリンピック委員会（IOC）と世界保健機構（WHO）は活動を協力し、「タバコのないオリンピック」を目指しています。しかし東京大会では、前回のリオデジャネイロ大会の受動喫煙対策よりは後退してしまうようです。東京大会では、残念なことに小規模飲食店での喫煙は、店頭表示で可能となっていました。

喫煙による障害は広く知られ、喫煙率は全国的に低下しています。弘前大学の職員の喫煙率は以前から低く、平成21年の時点では17.2%でしたが、平成29年には、10.8%（男性；17.7%，女性；5.4%）まで減少しています。一般の喫煙率の約半分といった状況です。

弘前大学は、平成19年から構内全面禁煙が行われています。現在東北地区の国立7大学中、5校が敷地内全面禁煙となっています。平成30年に改定された「健康増進法」では、学校は敷地内禁煙となっていますが、受動喫煙を防止する処置がとられていれば、喫煙場所を設置することができることも明記されています。

関西地区で、興味ある行政相談がありました。ある国立大学の学生からの訴えで、喫煙場所から流れる煙で健康被害が心配である、といった相談内容でした。それに対する国（総務省）の回答ですが、まずは厳重な受動喫煙対策をとるように大学に求めています。ただ、この厳重な対策はおそらくは実現が困難な内容となっており、結局その大学に敷地内全面禁煙を勧めるといった内容でした。今後は、全国の大学が全面禁煙となっていくものと思われます。

最近、電子タバコが注目されています。電子タバコは、液体を発熱により霧状にして吸引するものです。ニコチンを加えたものは、薬事法で不許可となっていますので、我が国で使用できるのは、加熱式タバコということになります。メーカーの発表では、タールなどの一部の有害物質は90%程度減少するとされています。となると喫煙者としては、有害性もそれだけ減ると期待して使用するわけです。しかし、これはあくまでイメージで、有害性が低いというデータはありません。基礎的研究では、加熱式タバコでは従来のタバコに比較して、重金属量が高く、気道炎症が強く生じるとの報告もあります。加熱式タバコは安全ではありません。

喫煙は、現在「ニコチン依存症」という疾患と考えられています。大学生が最も罹患する疾患は、この「ニコチン依存症」です。私たちは、この疾患を防ぐために、環境を整えておく必要があります。

平成31年1月

弘前大学保健管理センター所長

高 梨 信 吾

I 報 告

大学生におけるインターネット依存傾向と精神的健康についての検討

A Study on Internet Addiction and Mental Health for University Students

高橋 恵子

(弘前大学保健管理センター)

要 旨： 本研究では大学生のインターネット依存の傾向と、精神的健康との関連を検討した。大学生97名、平均年齢18.9±1.8歳に、Internet Addiction Test (IAT)を実施した。IATの平均点は39.8±12.9点で、平均的ユーザーは52.3%、問題あり(依存傾向中)は45.5%、重大な問題あり(依存傾向高)は2.3%であった。精神的健康についてアレキシサイミアとの関連では、感情認知や伝達が困難な学生ほどネット依存が高い傾向にあった。また IAT が40点以上の高群では、エゴグラム CP と A が低く、AC が高かった。IAT 高群では現実検証力や自己統制力が弱く、他律性が強いことが示された。インターネットは日頃から蓄積されたストレスおよび不快感を瞬時に解消できる利便性が高く依存傾向を強化しやすいと考えられた。学生同士の対話による支援では、互いのありのままの体験を共有し合い、問題の気づきを深める契機になった。ネット依存は生活習慣と密接に関わることから本人の能動的な関与が欠かせない。今後もひとりひとりに寄り添った支援を続け、デジタル社会における心身両面からのサポートを探索していくことが求められる。

キーワード： インターネット依存, ゲーム, アレキシサイミア, エゴグラム, 行動変容

I. はじめに

現代社会ではインターネットの普及により生活が便利になった一方で、ゲームやネット使用の制御がきかなくなるインターネット依存の問題が増えている。iPhone が2007年に米国で発売されて十数年、ネット環境のパーソナル化、モビリティ化が進んだ¹⁾。総務省は2014年、「ICT(Information and Communication Technology)がもたらす世界規模でのパラダイムシフト」の特集²⁾で、インターネット依存に関する新たな課題を提示している。ネットの依存傾向は10~20代で高く、とりわけ携帯電話やタブレット端末による就寝前の利用が多かった。インターネット依存による健康被害は大学キャンパスにおいても広がっている。深夜に及ぶネット使用、睡眠障害、生活リズムの乱れ、研究室不登校やひきこもりなど、多くの心身両面にわたる影響が表れている。

思春期、青年期は心身の健全な発育、社会的コミュニケーションの形成に重要な時期である。この時期のネットの過剰使用は深刻な健康障害を引き起こす危険性がある。2018年6月、世界保健機関(WHO)は新たな国際疾病分類(ICD-11)を公表し2022年の発効に向けてゲーム障害を新たに精神疾患に加えた。ガイドラインでは時間や頻度をコントロールできない、ゲーム以外の優先度が低くなる、日常生活に問題が起きてもゲームをやめられないなどの状態が12ヶ月以上(深刻な場合はより短期)続くとされている。一方で、学生のインターネット依存に関する意識はあまり高くない。学生らの日常的な感覚では、害を与えなければかまわない、ネットがない生活は生活ではない、ゲーム自体は悪くないなど、問題の存在やその深刻性をディスカウントする傾向もある³⁾。

本研究では大学生におけるネット依存の傾向と、精神的健康面の関連を調査する目的で、アレキシサ

イミアの性格特性とエゴグラムから検討を行った。アレキシサイミアは Sifneos⁴⁾によって提唱された性格特性で“失感情症”と邦訳され、適切な言葉を用いて自らの感情を表現したり人に伝えるのが困難な特性を表す。アレキシサイミアは疲労やストレスなどを認知しづらいことから、当初心身症の中核群の特徴として注目された。今日では他者への共感性や想像力の乏しさによる対人関係の問題、さまざまな精神障害との関連性が指摘されている。

エゴグラムは交流分析に基づく自我の構造分析である。Dusay⁵⁾によって考案されたエゴグラムは、表1に示される5つの自我状態を測定する。本調査ではこれらの自我構造が、インターネット依存とどのように関わるか検討を行った。

以上、本研究ではインターネット依存傾向の調査から心理的側面の理解につなげるとともに、学生同士の対話からみえてくるインターネット依存の問題について検討を行った。

表1 エゴグラムの5つの自我状態

尺度	説明
CP 批判的な親	父性、批判的、命令、批判、義務、ねばならない
NP 養育的な親	母性、保護的、養育的、世話やき、大丈夫よ
A 冷静な私	5W1H、データ分析、数値、打算的、客観的
FC 自由な子ども	自然、自由、自発的、創造性、衝動的
AC 順応した子ども	順応、感情抑制、他律、依存的、表と裏

II. 方法

1. 対象およびインターネット依存の調査

対象は、大学生97名（男性53名、女性44名）、平均年齢は18.9±1.8歳であった。

インターネット依存の傾向については、ヤングの Internet Addiction Test (IAT)⁶⁾を実施した。IATはネットが日常生活に及ぼす影響を得点化する質問紙で、20項目から構成される。選択肢はまったくない(1点)、まれにある(2点)、ときどきある(3点)、よくある(4点)、いつもある(5点)の5件法で、得点範囲は20~100点である。得点が高いほど依存傾向が高いことを示し、20~39点は平均的ユーザー(依存傾向低)、40~69点はネットによる問題あり(依存傾向中)、70~100点は重大な問題あり(依存傾向高)と判定される。

2. 精神的健康との関連について

1) 日本版トロント・アレキシサイミア尺度 (Tront Alexithymia Scale : TAS-20)

アレキシサイミアの分析は Taylor らによる Tront Alexithymia Scale (TAS-20)⁷⁾を実施した。TAS-20は信頼性と妥当性が確認されている質問紙で⁸⁾ 広く世界的にも使用されている。項目数は20問で、まったくない(1点)、まれにある(2点)、ときどきある(3点)、よくある(4点)、いつもある(5点)の5件法で回答し、得点範囲は20~100点である。構成尺度は、感情の同定困難(Difficulty in Identifying Feeling : DIF)、感情の伝達困難(Difficulty in Describing Feelings : DDF)、および外的志向 (Externally Oriented Thinking : EOT) の3尺度である(表2)。

表2 TAS-20の構成尺度

尺度	説明
感情の同定困難 DIF	自分の感情がどのようなものであるか言葉で表現したり、情動喚起によってもたらされる感情と身体感覚を区別することが困難
感情の伝達困難 DDF	感情を人に言葉で表すことが困難である
外的志向 EOT	想像力が制限され、内面より刺激に結びついた外的な事実へ関心が向かう

2) 自己成長エゴグラム (Self Grow-up Egogram : SGE)

自我状態の分析については桂らの自己成長エゴグラム (SGE)⁹⁾ を施行した。SGE は50題からなり、はい (2点)、どちらでもない(1点)、いいえ (0点) の3件法で回答する。SGE は表1に示す5つの尺度から構成され、各尺度の得点範囲は0点~20点である。

以上の調査は大学の健康教育の授業時間に集団で実施した。調査にあたり回収した調査票は統計的に処理され個人の得点は問題にしないこと、参加しない場合も不利益はないことを説明した上で、調査への協力を呼びかけた。

3. 学生が考えるネット依存の問題について

インターネットに関して学生同士が対話形式で問題について語り合った。参加学生は男性10名、女性10名 (年齢は18~21歳) であった。学年や学部学科はさまざまで、日常的な接点は少なかった。彼らに対し「ネットやゲーム障害をどう考えるか」、「ゲームにのめり込んでしまう要因について」、「ネットをする時間が減ったのはどのような場合か」、「困っている人にどのような支援ができるか」、「逆に効果がないのはどのような対応か」について問いかけた。話し合いでは結論を求めず相手の話をよく聴いて自らの体験も述べ合うよう促し、批評や批判を挟まず相手の話を理解するよう、時間をかけて対話を進めた。

Ⅲ. 結果

1. IATによるインターネットの依存傾向の分析

1) IAT 得点の分析

IAT の全体平均は39.8±12.9点であった。男性は39.1±14.6点、女性は40.6±10.7点で統計的な有意差は認められなかった。全体として平均的ユーザー (依存傾向低) は52.3%、問題あり (依存傾向中) は45.5%、重大な問題あり (依存傾向高) は2.3%であった。男女別の IAT 得点分布を図1に示す。男女とも、およそ半数程度の学生がインターネット依存に関する何らかの問題を抱えていることが示されている。

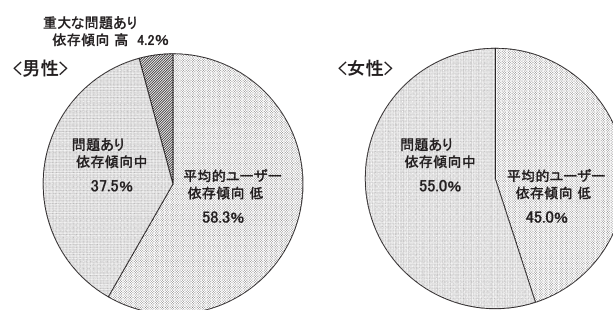


図1 男女別IAT得点の割合

2) 項目別の分析

項目別の回答分布を図2に示す。平均値が高かったものから順にみると「気がつくと思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」、「日々の生活の心配事から心をそらすためにネットをすることがある」、「インターネットをしているとき、あと数分だけと言っている自分に気づく」など、インターネットが身近なストレス解消手段になっていることが示された。また「睡眠時間をけずって深夜までインターネットをすることがある」、「ネット時間を増やすため家での仕事や役割をおろそかにすることがある」、「インターネットのために仕事の能率や成果が下がった」など、ネットによる生活リズムの乱れ、これによる修学や学業不振やパフォーマンスの低下が顕著であった。

2. 精神的健康面に関する質問紙の分析

1) IAT と TAS-20の相関分析

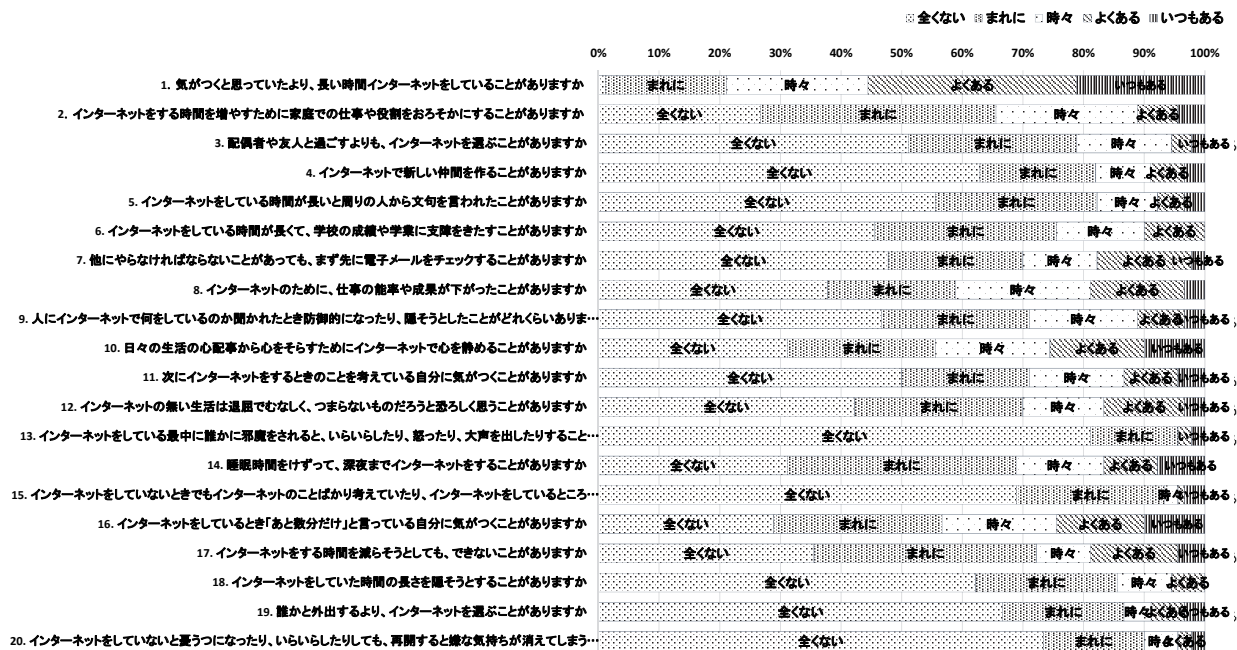


図2 IAT項目別の回答分布

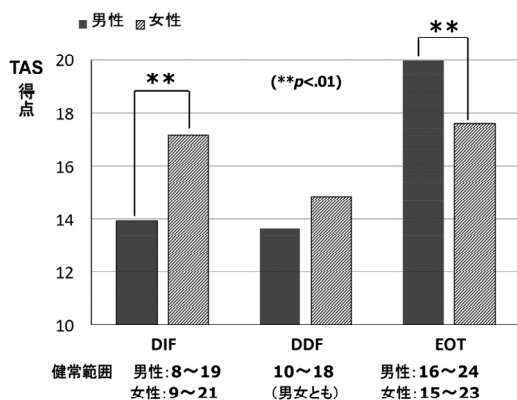


図3 TAS-20の男女別の尺度得点

図4はIATとTAS-20総合点の相関図を示している。感情認知や伝達に困難さを感じる学生ほどネット依存傾向が高かった。

2) SGE との関連

IAT 低群 (40点未満の平均的ユーザー) と高群 (40点以上の問題あり群) のSGE得点の差異を検討するため、IAT(低/高)群と性別(男/女)を独立変数、SGE得点を従属変数とする2要因の分散分析を行なった。その結果、CPとA、ACで統計的な有意差が認められた (CP: $F(1/72)=5.26, p<.05$, A: $F(1/72)=4.07, p<.05$, AC: $F(1/72)=5.78, p<.05$)。IAT高群では有意にCPとAが低く、ACが高かった (図5)。これは自己統制力や現実検証力の低さ、自己抑制的で他律的な適応様式を示唆している。

TAS-20総合点の平均は 48.5 ± 8.7 点で、3つの構成尺度の得点を含めて健常範囲内であった (DIF= 15.4 ± 5.7 点, DDF= 14.2 ± 3.7 点, EOT= 18.9 ± 4.0 点)。各尺度の男女別得点を図3に示す。

IATとTAS-20の相関分析 (性別を制御変数) の結果、TAS-20の総合点 ($r=.23, p<.05$)、感情同定困難 DIF ($r=.26, p<.05$) および感情伝達困難 DDF ($r=.28, p<.01$) でそれぞれ有意な正の相関が示された (表3)。

表3 TASの各尺度得点とIATとの相関係数

TAS-20	(制御変数: 性別)			
	総合点	DIF	DDF	EOT
IAT	.23*	.26*	.28**	—

(* $p<.05$, ** $p<.01$)

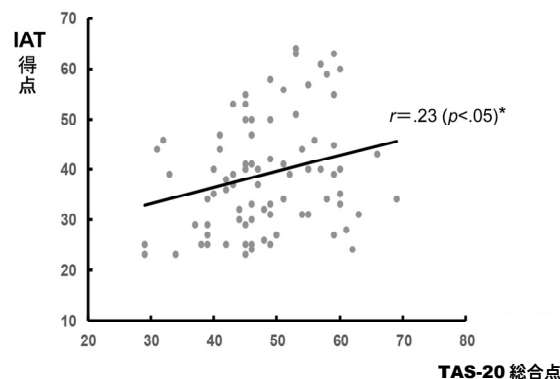


図4 IATとTAS-20総合点の相関図

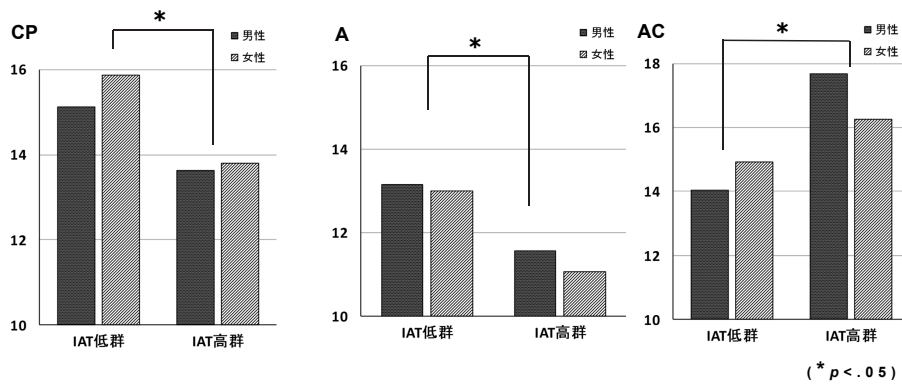


図5 IAT低群・高群別のSGE得点

図6は IAT 低群と高群の SGE の平均プロフィールを示している。両群では特に© (child) の構造に違いがあり、IAT 高群の AC は FC に比べて高かった。これは周囲の反応に敏感な他者主体的な傾向、不安緊張、イライラ、抑うつ気分などが高い傾向を示している。

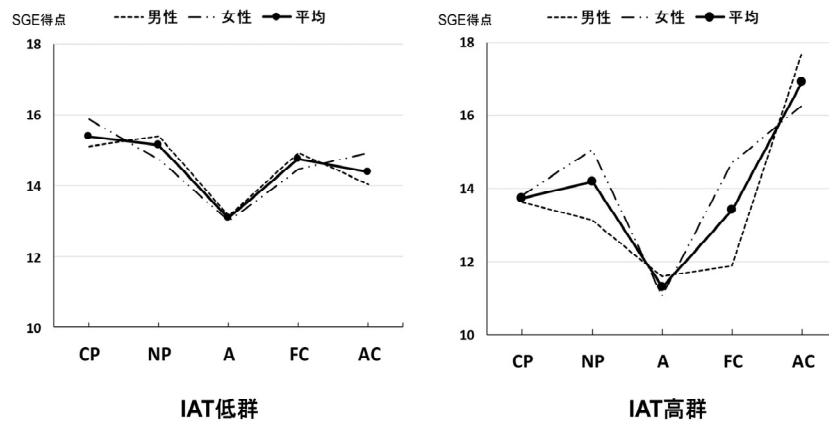


図6 IAT低群・高群のSGEの平均プロフィール

3. 学生同士の対話による課題と支援

1) インターネットやゲーム障害をどう考えるか

インターネット依存については「テレビや読書がインターネットに変わっただけ、なぜ問題視されるのか」(IAT 高群)、「自分はならないと思う、自己規制するしかない」(IAT 低群)、「誰でもなり得る、治すのは難しそう」(IAT 低群) など、深刻性の認識はとりわけ高群でばらつきが大きかった。また「ネットで勉強もするから長時間使うのは仕方ない」(IAT 高群)、「スマホを見るのはあたりまえ」(IAT 高群)、「避けられない」(IAT 高群) など、インターネットが日常生活に浸透していることが示された。

2) ネット依存に陥りやすい状況について

インターネットにはまりやすい状況については「暇つぶし」(IAT 高群)、「毎日が充実していない」(IAT 高群)のほか、「人間関係がうまくいかない」(IAT 高群)、「信頼できる友だちがいない」(IAT 高群) などネットが孤独や寂しさをまぎらわす手段になっていることがあげられた。ネット上では「顔を知らない相手とも遊べる」、「人と関わるのが苦手でも楽しめる」(IAT 高群)ほか、「みんなと一緒に遊べる」(IAT 高群)、「友だち関係が維持できる」など、出会いやつながりの意味、また「友だちから見離されないように」(IAT 高群)などの不安回避の要因もあげられた。

ゲーム依存に陥りやすい状況は「アイテムのコレクションに終わりが無い」こと、「スタミナが無駄になる焦り」(IAT 高群)などのリアルタイムと連動したシステムがあった。また「ゲームをクリアするとスッキリした気分になる」、一方で「クリアしないとやるまでやめられない」(IAT 高群)などの嗜癖性の高さが明らかであった。さらに「不満があるときはネットに逃げてしまう」(IAT 低群)など、依存傾向が低い人でもネット行動は容易に賦活されやすい状況が見受けられた。その他、「上達すると自分を認めてもらえた気がする」(IAT 高群)、「現実では目立たなくてもゲームでは肯定感がある」(IAT 高群)などの承認欲求の充足が指摘されている。

3) インターネットをする時間が減った状況について

次にインターネットをする時間が減った要因については、「宿題やレポートなどのやるが増えたとき」、「受験や試験が迫ったとき」、「部活、バイト、サークルなど他にやる事ができたとき」などがあげられた。また「誰かといるとき」(IAT 低群)、「人前で不快感を与えてしまうとき」(IAT 低群)、「人間関係が充実しているとき」(IAT 高群)も同様に利用時間が減っている。一方で、「一人にいるときはネットをする時間が増えた」(IAT 低群)など、生活のすき間を埋める時間の構造化にネットが深く関わっていることがうかがわれた。

4) 困っている人にどんな支援ができると思うか

困っている人にどのような支援が可能であるか学生らに尋ねたところ、多くの学生が「支援は難しい、思いつかない」(IAT 高群)と述べた。しかし中には「よければ病院を勧める」、「相談にのる」、「ネット環境から一時的に離す」(IAT 低群)などの意見も出された。立ち直す契機については「きっかけは人との出会い」、「のめり込むのはゲームしか居場所がないから」、「その人にとってゲームより楽しいものをみつけること」の声が聞かれた。さらに「いっしょに遊べるコンテンツで関わりを持つ」(IAT 低群)、「一方的ではないコミュニケーションが必要」(IAT 高群)など具体的支援も述べられた。

5) 効果がないのはどのような対応か

逆に効果がないと思う対応については、「強制的にやめさせること」、「叱責や注意しからないこと」、「悪いと決めつけてコミュニケーションをとらないこと」などの強制や罰が依存傾向が高かった人、低かった人に関わらずあげられた。

IV. 考察

1. IATによるネット依存の傾向について

全体としてインターネット依存の割合は47.8%と高く、半数近くの学生が該当した。総務省の「ネット依存症の国際比較」(2014)²⁾では、ネット依存が中等度以上の群は54.3%で、10~20代が最も多かったと報告している。同じく総務省¹⁰⁾の「青少年のインターネット利用と依存傾向に関する調査」(2013)では、大学生の平均インターネット利用時間は3時間で「帰宅してから夜寝るまで」が最も長く、「学校」がそれに続いた。インターネット利用は中学、高校、大学と学年が上がるにつれて長くなる傾向にあり、大学生でピークであった。本調査でも「気がつくと長い時間インターネットをしていることがある」などネットへの没入感が高いことが指摘されている。学生がネットにはまる状況は「日々の生活の心配事から心をそらすため」、「ネットで心を静めるため」などが多く、ストレスの発散や気持ちの安定を図るために多様されている状況があった。

総務省(2013)¹⁰⁾の調査で「ネットのために犠牲にしている時間」として最も多かったのは「睡眠」で、次に「勉強の時間」があげられた。本調査でもネットのために睡眠時間や勉強時間を削る生活習慣

の乱れが明らかであった。睡眠量や質の低下は精神健康面に深刻なダメージを及ぼすことから、ネット依存についての正しい理解と啓蒙を促す教育的機会が必要であると考えられる。

2. インターネット依存と精神的健康との関連

1) アレキサイミアについて

アレキサイミアはフラストレーションや葛藤状態で、これを避けるための行動に走りやすいことが指摘されている (Nemiah¹¹⁾)。本調査では感情認知や伝達に困難を感じる学生ほど、インターネット依存が高い傾向にあった。精神的健康との関連では、ネット依存者は心の不快感やストレスを表現しにくい傾向にあり、孤立や内閉性を強めやすく、現実場面での人間関係を構築しづらい面が示唆された。岡田¹²⁾ は、ネットやゲームにはまりやすいタイプに現実的な葛藤から救済を求める依存型、気分の改善を求める不安定型、対人場面の緊張や葛藤から逃避する回避型等をあげている。日頃から我々がもてあます感情には漠然とした空感や孤独感、寂しさなどがあるが、これらは他人にはなかなか理解されにくいものである。一方でインターネットやゲームはこれらの不快感を瞬時に解消できる即効性が高く、ネット依存に陥りやすい要因のひとつと考えられる。

2) エゴグラムとの関連

ネット依存が高い群では CP や A が低く、AC が高かった。SGE の CP 項目には「規則やルールを守る」、「時間を守らないことは嫌です」、「約束を破ることはない」などの項目が含まれ、自己統制的な行動を表している。また A 項目は「結末を予測して準備します」、「事実に基づいて考えます」などの現実検証力を示している。CP や A が低いことは自らの意志によって生活行動を制御するエネルギーの低さが示される。また AC 項目は「人の気持ちが気になって合わせてしまう」、「相手の顔をうかがう」、「人によく思われようと振る舞います」などの項目が含まれ、受動性や他律性の高さが示される。これらは自己肯定感を伴うセルフケアが難しいことを示唆している。

ソーシャルゲームは手軽に人との関わりが得られる利点がある。交流分析¹³⁾ では人との関わりを「ストローク」と呼び、人が生きる上で不可欠な“心の栄養”と考えている。インターネット上では快適なストローク (プラス) の交換も不快なストローク (マイナス) の交換もあるが、いずれにせよ他者と関わりが生まれる場所である。総務省の調査 (2013)¹⁰⁾ によれば、コミュニケーションを指向するユーザーほど、ネットの依存傾向が高かったとしている。青年期においてゲーム依存の問題は、心の飢えを充たす、人生という時間の構造化に関わる本質的な問いが潜んでいる。自らを省みることは容易ではないが、効率では計れない大切な時間と考えられる。

3. 対話で通じてみえてくること

学生らの対話を通して、同世代同士だからこそ分かりあえる発見もあり、お互いに関心をもって相手の話に耳を傾けることができた。これらは問題の気づきにつながり、結論を急がず体験を共有できたことは問題の客観化につながった。ゲーム依存は生活習慣と密接に関わる問題である。その行動修正のプロセスには主体的な取り組みが欠かせない。今後もひとりひとりに寄り添った主体性を伸ばす教育的支援が必要と考えられる。

V. 総括

本研究では大学生におけるインターネット依存傾向を調べ、精神的健康との関連を調査した。およそ半数の学生が IAT の依存傾向が中等度以上で、インターネットが日常生活に深く浸透していた。精神的健康との関連では、ネット依存者は心の不快感やストレスを適切に表しにくく、ネットが手軽なストレス解消手段となっていることが示された。さらに依存傾向が高い群では現実検証力や自己統制力が弱く、人への他律性が高い傾向にあった。インターネットは心の飢えや孤独感、退屈さを充たす道具であり、若者のネット依存を高める要因と考えられる。学生同士が互いに自らの体験を共有したことは、ネット問題の気づきを深める契機になった。インターネット依存をめぐる課題は生活習慣の見直しという能動的な対処が求められる問題である。自らの身体、そして心を省みる時間は、効率では計れない大切な時間と考えられる。今後もそのような人に寄り添った継続的な支援、デジタル社会における心身両面からのサポートを探索していくことが必要である。

文献

- 1) 総務省 情報通信白書平成30年度版. 2018
- 2) 総務省 情報通信白書平成26年度版. 2014
- 3) 高橋恵子 他：大学生のネット依存と精神的健康－他者意識とセルフモニタリングとの関連. 第56回全国保健管理研究集会プログラム抄録集, 92, 2018
- 4) Sifneos PE.: The prevalence of 'alexithymic' characteristics in psychosomatic patients. , *Psychother Psychosom.* **22**, 255-262, 1973
- 5) Dusay J. : Egograms — How I see you and you see me, Harper and Row, New York, 1977. (新里里春訳：エゴグラム, 創元社, 東京, 1980)
- 6) Young, K. S. : Internet addiction: The emergence of a new clinical disorder. *Psychology and Behavior*, **1**(3), 237-244, 1998
- 7) 小牧 元, 前田基成 : TAS-20 トロント・アレキサイミア尺度 使用手引, 三京房, 2015
- 8) 小牧 元 : 日本語版 alexithymia Scale (TAS-20) の信頼性, 因子的妥当性の検討. *心身医学* **43**, 840-846, 2003
- 9) 桂戴作, 芦原睦, 村上正人 : 自己成長エゴグラムのすべて-SGE マニュアル, チーム医療, 1999
- 10) 総務省 青少年のインターネット利用と依存傾向に関する調査 調査結果報告書. 2013
- 11) Nemiah JC, Freyberger H, & Sifneos PE : Alexithymia : A view of the psychosomatic process, in *Modern Trends in Psychosomatic Medicine Vol. 3*, pp430-439. London : Butterworths, 1976
- 12) 岡田尊司: インターネット・ゲーム依存症, 文藝春秋, 2014
- 13) 桂戴作, 杉田峰康, 白井幸子 : 交流分析入門, チーム医療, 1996

Ⅱ 平成29年度保健管理業務報告

平成29年度

1. 保健管理センター年間行事

月	行 事	内 容	対 象	備 考
4月	職員特殊健康診断	末梢血, 問診票	電離放射線取扱者(看護部異動による新規対象者)	第1回
	AED講習会	AED講習	留学生	
	幼児・児童・生徒定期健康診断	※後記載	附属学校園(幼・小・中・特別支援)	
	学生定期健康診断	全学生: 検尿, 血圧, 身長, 体重測定 新入生: 胸部レントゲン, 視力, 各科検診(内科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科)	全学生	
5月	学生特別定期健康診断	1. GOT・GPT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体 2. GOT・GPT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体, 末梢血, 問診票 3. 末梢血, 問診票	1. 保健学科(看護学2年, 検査技術科学3年), 保健学科3年編入生 2. 保健学科(放射線技術科学3年, 3年編入学生) 3. 保健学科(放射線技術科学4年) RI 実験室立入学生 医学科2年・2年次編入生	第1回 第1回
	学生B型肝炎検査	HBs 抗原・抗体	HBワクチン接種希望者(医学科4年他)	第1回
	職員特殊健康診断(外注)	各取扱物に対する受検項目	有機溶剤・特化物・電離放射線取扱者	第1回
6月	肺がん検診	1. 問診票(喫煙指数含む) 2. 喀痰細胞診	1. 40歳以上の全職員 2. 保健管理センター所長が必要と認めた者	第1回
	学生検尿再検	早朝尿又は夕食後尿	定期健康診断検尿要再検者(二次検尿)	
	職員特定業務従事者健康診断	1. 問診票, 体重, 血圧, 検尿, 視力, 聴力 2. VDT 作業従事者	1. 深夜業務従事者(看護師, 週1回以上の宿直該当者), 病原体・ホルムアルデヒド・エチレンオキシドを扱う業務従事者 2. VDT 作業従事者および視力測定該当者	
	学生心電図検査	心電図	1. 附属学校(小1年, 中1年)特別支援学校(小1年, 中1年, 高等部1年) 2. 大学新入生・編入生, 心電図要経過観察学生	
7月	職員心電図検査と血液検査	心電図, GOT, GPT, γ -GTP, 中性脂肪, HDL コレステロール, LDL コレステロール, 貧血検査, 腹囲測定	35歳と40歳以上の職員	
9月	女子職員子宮頸癌検診	内診, 細胞診, 卵巣エコー	全女子職員希望者	第2回
	学生健康診断結果配布	定期健康診断等の結果を個人通知	新入生全員, 定期健康診断等受検者	
	職員ストレスチェック		全職員	
	AED講習会	AED講習	留学生	

月	行 事	内 容	対 象	備 考
10月	学生特別定期健康診断	1. 末梢血, 問診票	1. 保健学科 (放射線技術科学3年, 4年) RI 実験室立入学生 保健学科 (放射線技術科学2年)	第2回
}	職員大腸癌検診	2. GOT・GPT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体	2. 保健学科 (理学療法, 作業療法) 2年	第2回
	総合文化祭	便中 Hb	40歳以上の職員	
	職員一般定期健康診断 (兼特定業務従事者健康診断)	救護班 胸部レントゲン, 検尿, 血圧, 身長, 体重, BMI, 視力, 聴力, 問診	全職員	第2回
11月	職員特殊健康診断 (外注)	各取扱物に対する受検項目	有機溶剤・特化物・電離放射線取扱者	第2回
	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種依頼に応じて実施	医学部学生希望者, 職員 (医療関係)	
	AO 入学志願者試験	救護班		
12月	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種依頼に応じて実施	学務部職員 (入試担当) 希望者	
	職員胃がんリスク検診	HP 抗体, ペプシンゲン	40歳以上職員希望者	
1月	大学入試センター試験	救護班		
	学生特別定期健康診断	GOT・GPT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体, 末梢血	医学科4年, HB ワクチンを接種した医学科5・6年	
2月	入学試験 (前期)	救護班		
3月	入学試験 (後期)	救護班		
	職員B型肝炎検査	GOT・GPT, HBs 抗原・抗体	HB ワクチン接種者, 来年度 HB ワクチン希望者	
	学生定期健康診断	検尿, 血圧, 身長, 体重, 胸部レントゲン	保健学科4年 (理学・作業療法) (4月から実習で受診できないため)	

健康診断証明書
健康相談
応急処置

— 随時

※ 幼児・児童・生徒定期健康診断検査項目

1. 身長・体重・座高
2. 栄養状態
3. 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
4. 視力・色覚及び聴力
5. 目の疾病及び異常の有無
6. 耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無
7. 歯及び口腔の疾病及び異常の有無
8. 結核の有無
9. 心臓の疾病及び異常の有無
10. 尿検査
11. その他の疾病及び異常の有無

備考

左記の検査項目のうち幼稚園は8を除く項目を実施。10は附属学校園すべて保健管理センターで実施。8は小・中学校は問診票にて実施し, 特別支援学校高等部は胸部レントゲン実施。小・中学校の2, 3, 5, 6, 9, 11は附属病院等にて実施。

2. 保健管理センター業務対象学生及び職員数

大学

平成29年5月1日現在

学 部	性別	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
人文社会科学部	男	137	143	194	217			691
	女	134	131	160	188			613
教育学部	男	78	81	102	124			385
	女	101	94	142	156			493
医 学 科	男	52	104	87	85	76	86	490
	女	62	58	45	41	42	50	298
保健学科	男	69	64	66	76			275
	女	135	138	134	146			553
理工学部	男	310	305	251	282			1,148
	女	56	59	47	51			213
農学生命科学部	男	130	123	115	130			498
	女	90	89	74	85			338
計	男	776	820	815	914	76	86	3,487
	女	578	569	602	667	42	50	2,508
合 計		1,354	1,389	1,417	1,581	118	136	5,995

大学院

平成29年5月1日現在

学 部	性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
人文社会科学研究科	男	3	7			10
	女	15	9			24
教育学研究科	男	16	17			33
	女	23	24			47
医学研究科	男	38	49	32	47	166
	女	23	18	15	24	80
保健学研究科 博士前期課程	男	17	35			52
	女	15	14			29
保健学研究科 博士後期課程	男	4	5	9		18
	女	6	7	9		22
理工学研究科 博士前期課程	男	94	105			199
	女	12	16			28
理工学研究科 博士後期課程	男	7	7	7		21
	女	1	1	4		6
農学生命科学研究科	男	35	23			58
	女	22	12			34
地域社会研究科	男	4	5	16		25
	女	5	1	5		11
計	男	218	253	64	47	582
	女	122	102	33	24	281
合 計		340	355	97	71	863

職員

平成29年10月1日現在

部 局	性別	職員数	35歳と40歳以上	40歳以上
事務局 ※	男	188	133	130
	女	161	95	92
人文社会科学部	男	64	52	51
	女	24	16	15
教育学部	男	128	97	92
	女	106	84	81
医学研究科	男	177	139	133
	女	145	89	83
保健学研究科	男	76	53	47
	女	54	39	36
医学部附属病院	男	339	132	123
	女	860	366	348
理工学研究科	男	115	92	91
	女	21	14	14
農学生命科学部	男	91	72	72
	女	21	14	11
計	男	1,178	770	739
	女	1,392	717	680
合 計		2,570	1,487	1,419

※学内共同施設等を含む

教育学部附属学校 平成29年5月1日現在

学 校	性別	児童・生徒数
小 学 校	男	268
	女	284
中 学 校	男	243
	女	243
特別支援学校	男	39
	女	15
幼 稚 園	男	33
	女	42
計	男	583
	女	584
合 計		1,167

3. 学生の健康診断

(1) 定期健康診断受検率及び結果

①大学新入生（医学部以外）

学部	学年	性別	受検対象者数	検査項目							
				胸部写真		尿検査※			血圧測定		
				受検者数 (%)	要精検者数 (%)	受検者数 (%)	有所見者数 (%)			受検者数 (%)	要観察者数 (%)
							蛋白	糖	潜血		
人文社会科学部	1	男	137	126 (92.0)		126 (92.0)	5 (4.0)		1 (0.8)	126 (92.0)	6 (4.8)
		女	134	133 (99.3)		133 (99.3)	18 (13.5)	1 (0.8)	6 (4.5)	133 (99.3)	
教育学部	1	男	78	76 (97.4)	1 (1.3)	76 (97.4)	4 (5.3)	2 (2.6)		76 (97.4)	4 (5.3)
		女	101	101 (100.0)		100 (99.0)	11 (11.0)	1 (1.0)	3 (3.0)	101 (100.0)	2 (2.0)
理工学部	1	男	310	300 (96.8)	2 (0.7)	300 (96.8)	36 (12.0)	2 (0.7)	7 (2.3)	300 (96.8)	12 (4.0)
		女	56	55 (98.2)		55 (98.2)	2 (3.6)		4 (7.3)	55 (98.2)	1 (1.8)
農学生命科学部	1	男	130	130 (100.0)		130 (100.0)	11 (8.5)		6 (4.6)	130 (100.0)	6 (4.6)
		女	90	88 (97.8)	1 (1.1)	87 (96.7)	7 (8.0)		3 (3.4)	88 (97.8)	2 (2.3)
小計		男	655	632 (96.5)	3 (0.5)	632 (96.5)	56 (8.9)	4 (0.6)	14 (2.2)	632 (96.5)	28 (4.4)
		女	381	377 (99.0)	1 (0.3)	375 (98.4)	38 (10.1)	2 (0.5)	16 (4.3)	377 (99.0)	5 (1.3)
合計			1,036	1,009 (97.4)	4 (0.4)	1,007 (97.2)	94 (9.3)	6 (0.6)	30 (3.0)	1,009 (97.4)	33 (3.3)

②医学部

学部	学年	性別	受検対象者数	検査項目							
				胸部写真		尿検査※			血圧測定		
				受検者数 (%)	要精検者数 (%)	受検者数 (%)	有所見者数 (%)			受検者数 (%)	要観察者数 (%)
							蛋白	糖	潜血		
医学科	1	男	52	50 (96.2)		50 (96.2)	2 (4.0)			50 (96.2)	2 (4.0)
		女	62	62 (100.0)		62 (100.0)		1 (1.6)	1 (1.6)	62 (100.0)	
	2	男	104	73 (70.2)		74 (71.2)		1 (1.4)	1 (1.4)	73 (70.2)	11 (15.1)
		女	58	36 (62.1)		36 (62.1)	1 (2.8)		3 (8.3)	36 (62.1)	
	3	男	87	56 (64.4)		57 (65.5)	1 (1.8)		3 (5.3)	56 (64.4)	3 (5.4)
		女	45	16 (35.6)		16 (35.6)	2 (12.5)	1 (6.3)	1 (6.3)	16 (35.6)	
	4	男	85	65 (76.5)		66 (77.6)	2 (3.0)		1 (1.5)	66 (77.6)	9 (13.6)
		女	41	37 (90.2)		35 (85.4)	2 (5.7)		3 (8.6)	37 (90.2)	2 (5.4)
5	男	76	53 (69.7)		53 (69.7)	2 (3.8)			53 (69.7)	3 (5.7)	
	女	42	23 (54.8)		22 (52.4)			2 (9.1)	23 (54.8)		
6	男	86	51 (59.3)		51 (59.3)		1 (2.0)	3 (5.9)	51 (59.3)	7 (13.7)	
	女	50	35 (70.0)		35 (70.0)	2 (5.7)	1 (2.9)	2 (5.7)	35 (70.0)		
計	男	490	348 (71.0)	0 (0.0)	351 (71.6)	7 (2.0)	2 (0.6)	8 (2.3)	349 (71.2)	35 (10.0)	
	女	298	209 (70.1)	0 (0.0)	206 (69.1)	7 (3.4)	3 (1.5)	12 (5.8)	209 (70.1)	2 (1.0)	
保健学科	1	男	69	68 (98.6)		68 (98.6)	3 (4.4)	1 (1.5)		68 (98.6)	6 (8.8)
		女	135	135 (100.0)	2 (1.5)	135 (100.0)	11 (8.1)	1 (0.7)	2 (1.5)	135 (100.0)	0 (0.0)
	2	男	64	63 (98.4)		63 (98.4)	3 (4.8)		2 (3.2)	63 (98.4)	6 (9.5)
		女	138	135 (97.8)		133 (96.4)	7 (5.3)	2 (1.5)	3 (2.3)	133 (96.4)	0 (0.0)
	3	男	66	66 (100.0)		66 (100.0)	3 (4.5)	1 (1.5)	3 (4.5)	66 (100.0)	3 (4.5)
		女	134	130 (97.0)		130 (97.0)	2 (1.5)	2 (1.5)	6 (4.6)	130 (97.0)	2 (1.5)
4	男	76	71 (93.4)		71 (93.4)	1 (1.4)		5 (7.0)	71 (93.4)	3 (4.2)	
	女	146	144 (98.6)	1 (0.7)	143 (97.9)	4 (2.8)	3 (2.1)	6 (4.2)	144 (98.6)		
計	男	275	268 (97.5)	0 (0.0)	268 (97.5)	10 (3.7)	2 (0.7)	10 (3.7)	268 (97.5)	18 (6.7)	
	女	553	544 (98.4)	3 (0.6)	541 (97.8)	24 (4.4)	8 (1.5)	17 (3.1)	542 (98.0)	2 (0.4)	
小計	男	765	616 (80.5)	0 (0.0)	619 (80.9)	17 (2.7)	4 (0.6)	18 (2.9)	617 (80.7)	53 (8.6)	
	女	851	753 (88.5)	3 (0.4)	747 (87.8)	31 (4.1)	11 (1.5)	29 (3.9)	751 (88.2)	4 (0.5)	
合計			1,616	1,369 (84.7)	3 (0.2)	1,366 (84.5)	48 (3.5)	15 (1.1)	47 (3.4)	1,368 (84.7)	57 (4.2)

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

③在校生（医学部以外）

学 部	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目						
			尿 検 査 ※				血 圧 測 定		
			受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)	
				蛋 白	糖	潜 血			
人 文 学 部	2	男	143	73 (51.0)	1 (1.4)		6 (8.2)	74 (51.7)	7 (9.5)
		女	131	88 (67.2)	1 (1.1)		3 (3.4)	88 (67.2)	1 (1.1)
	3	男	194	141 (72.7)	3 (2.1)		3 (2.1)	141 (72.7)	13 (9.2)
		女	160	135 (84.4)	6 (4.4)	3 (2.2)	11 (8.1)	136 (85.0)	2 (1.5)
	4	男	217	119 (54.8)	4 (3.4)		2 (1.7)	119 (54.8)	10 (8.4)
		女	188	138 (73.4)	7 (5.1)		4 (2.9)	138 (73.4)	3 (2.2)
計	男	554	333 (60.1)	8 (2.4)	0 (0.0)	11 (3.3)	334 (60.3)	30 (9.0)	
女	479	361 (75.4)	14 (3.9)	3 (0.8)	18 (5.0)	362 (75.6)	6 (1.7)		
教 育 学 部	2	男	81	62 (76.5)	2 (3.2)	1 (1.6)	1 (1.6)	62 (76.5)	9 (14.5)
		女	94	79 (84.0)	2 (2.5)		1 (1.3)	80 (85.1)	
	3	男	102	54 (52.9)	2 (3.7)	2 (3.7)	1 (1.9)	53 (52.0)	3 (5.7)
		女	142	118 (83.1)	7 (5.9)	1 (0.8)	2 (1.7)	118 (83.1)	1 (0.8)
	4	男	124	78 (62.9)	2 (2.6)		3 (3.8)	78 (62.9)	11 (14.1)
		女	156	126 (80.8)	2 (1.6)		8 (6.3)	126 (80.8)	2 (1.6)
計	男	307	194 (63.2)	6 (3.1)	3 (1.5)	5 (2.6)	193 (62.9)	23 (11.9)	
女	392	323 (82.4)	11 (3.4)	1 (0.3)	11 (3.4)	324 (82.7)	3 (0.9)		
理 工 学 部	2	男	305	231 (75.7)	6 (2.6)	5 (2.2)	5 (2.2)	231 (75.7)	20 (8.7)
		女	59	56 (94.9)	3 (5.4)		1 (1.8)	56 (94.9)	
	3	男	251	193 (76.9)	3 (1.6)	1 (0.5)	4 (2.1)	194 (77.3)	26 (13.4)
		女	47	44 (93.6)	5 (11.4)	1 (2.3)	1 (2.3)	44 (93.6)	2 (4.5)
	4	男	282	192 (68.1)	6 (3.1)	2 (1.0)	6 (3.1)	192 (68.1)	16 (8.3)
		女	51	46 (90.2)			3 (6.5)	46 (90.2)	
計	男	838	616 (73.5)	15 (2.4)	8 (1.3)	15 (2.4)	617 (73.6)	62 (10.0)	
女	157	146 (93.0)	8 (5.5)	1 (0.7)	5 (3.4)	146 (93.0)	2 (1.4)		
農 学 生 命 科 学 部	2	男	123	72 (58.5)			1 (1.4)	72 (58.5)	8 (11.1)
		女	89	63 (70.8)	1 (1.6)		1 (1.6)	63 (70.8)	2 (3.2)
	3	男	115	57 (49.6)	2 (3.5)		2 (3.5)	57 (49.6)	3 (5.3)
		女	74	49 (66.2)	2 (4.1)		2 (4.1)	49 (66.2)	
	4	男	130	97 (74.6)	3 (3.1)		3 (3.1)	97 (74.6)	7 (7.2)
		女	85	64 (75.3)	3 (4.7)		4 (6.3)	64 (75.3)	1 (1.6)
計	男	368	226 (61.4)	5 (2.2)	0 (0.0)	6 (2.7)	226 (61.4)	18 (8.0)	
女	248	176 (71.0)	6 (3.4)	0 (0.0)	7 (4.0)	176 (71.0)	3 (1.7)		
小 計	男	2,067	1,369 (66.2)	34 (2.5)	11 (0.8)	37 (2.7)	1,370 (66.3)	133 (9.7)	
	女	1,276	1,006 (78.8)	39 (3.9)	5 (0.5)	41 (4.1)	1,008 (79.0)	14 (1.4)	
合 計		3,343	2,375 (71.0)	73 (3.1)	16 (0.7)	78 (3.3)	2,378 (71.1)	147 (6.2)	

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

④大学院（新入生・医学系学生）…胸部写真対象者

大 学 院	学 性 年 別	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目								
			胸 部 写 真		尿 検 査 ※			血 圧 測 定			
			受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)	
						蛋 白	糖	潜 血			
人文学部 研究科	1 男	3	2 (66.7)		2 (66.7)				2 (66.7)	1 (50.0)	
	1 女	15	11 (73.3)		11 (73.3)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	11 (73.3)		
教育学部 研究科	1 男	16	11 (68.8)	1 (9.1)	11 (68.8)		1 (9.1)		11 (68.8)	3 (27.3)	
	1 女	23	20 (87.0)		20 (87.0)				20 (87.0)	3 (15.0)	
医学部 研究科	1 男	38	3 (7.9)		2 (5.3)				2 (5.3)		
		23	1 (4.3)		1 (4.3)				1 (4.3)		
	2 男	49	4 (8.2)		4 (8.2)				4 (8.2)		
		18	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
	3 男	32	2 (6.3)		2 (6.3)				2 (6.3)		
		15	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
	4 男	47	1 (2.1)		0 (0.0)				0 (0.0)		
		24	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
	計	男	166	10 (6.0)	0 (0.0)	8 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (4.8)	0 (0.0)
		女	80	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)
保健学部 研究科	1 男	21	8 (38.1)		8 (38.1)				8 (38.1)	1 (12.5)	
		21	5 (23.8)		5 (23.8)			1 (20.0)	4 (19.0)		
	2 男	40	7 (17.5)		7 (17.5)				7 (17.5)		
		21	1 (4.8)		1 (4.8)				1 (4.8)		
	3(後期) 女	9	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
		9	1 (11.1)		1 (11.1)				1 (11.1)		
計	男	70	15 (21.4)	0 (0.0)	15 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (21.4)	1 (6.7)	
女	51	7 (13.7)	0 (0.0)	7 (13.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	6 (11.8)	0 (0.0)		
理工学部 研究科	1 男	101	86 (85.1)	1 (1.2)	86 (85.1)	1 (1.2)		5 (5.8)	86 (85.1)	9 (10.5)	
		13	11 (84.6)		11 (84.6)			2 (18.2)	11 (84.6)	2 (18.2)	
農学生命 科学研究科	1 男	35	31 (88.6)	1 (3.2)	31 (88.6)	1 (3.2)		1 (3.2)	31 (88.6)	4 (12.9)	
		22	18 (81.8)		18 (81.8)		1 (5.6)	1 (5.6)	18 (81.8)		
地域社会研究科	1 男	4	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
		5	0 (0.0)		0 (0.0)				0 (0.0)		
小 計	男	395	155 (39.2)	3 (1.9)	153 (38.7)	2 (1.3)	1 (0.7)	6 (3.9)	153 (38.7)	18 (11.8)	
	女	209	68 (32.5)	0 (0.0)	68 (32.5)	1 (1.5)	2 (2.9)	5 (7.4)	67 (32.1)	5 (7.5)	
合 計		604	223 (36.9)	3 (1.3)	221 (36.6)	3 (1.4)	3 (1.4)	11 (5.0)	220 (36.4)	23 (10.5)	

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

大学院（秋季入学生）…胸部写真対象者

大学院	学 年 別	性 別	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目							
				胸 部 写 真			尿 検 査 ※			血 圧 測 定	
				受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)
							蛋 白	糖	潜 血		
人文社会科学 研 究 科	1	男	1 (100.0)		1 (100.0)				1 (100.0)	1 (100.0)	
		女	8 (100.0)		8 (100.0)				8 (100.0)		
医学研究科	1	男	1 (100.0)		1 (100.0)				1 (100.0)		
		女	0								
理工学研究科	1	男	8 (87.5)	1 (14.3)	7 (87.5)				7 (87.5)	1 (14.3)	
		女	1 (100.0)		1 (100.0)				1 (100.0)		
農学生命 科学研究科	1	男	1 (100.0)		1 (100.0)				1 (100.0)		
		女	1 (100.0)		1 (100.0)				1 (100.0)		
小 計		男	11 (90.9)	1 (10.0)	10 (90.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (90.9)	2 (20.0)	
		女	10 (100.0)	0 (0.0)	10 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100.0)	0 (0.0)	
合 計			21 (95.2)	1 (5.0)	20 (95.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (95.2)	2 (10.0)	

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

⑤大学院（在校生・医学系以外）

大学院	学 年 別	性 別	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目						
				尿 検 査 ※			血 圧 測 定			
				受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)	
					蛋 白	糖	潜 血			
人文社会科学 研 究 科	2	男	7 (0.0)				0 (0.0)			
		女	9 (11.1)				1 (11.1)	1 (100.0)		
教育学研究科	2	男	17 (47.1)				8 (47.1)			
		女	24 (50.0)			3 (25.0)	12 (50.0)	1 (8.3)		
理工学研究科	2	男	112 (73.2)	1 (1.2)			82 (73.2)	4 (4.9)		
		女	17 (88.2)				15 (88.2)	1 (6.7)		
	3 (後期)	男	7 (0.0)	1 (1.0)			0 (0.0)			
		女	4 (75.0)			1 (33.3)	3 (75.0)			
	計	男	119 (68.9)	2 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	82 (68.9)	4 (4.9)		
		女	21 (85.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	18 (85.7)	1 (5.6)		
農学生命 科学研究科	2	男	23 (87.0)				20 (87.0)	1 (5.0)		
		女	12 (75.0)			1 (11.1)	9 (75.0)			
地域社会研究科	2	男	5 (20.0)				1 (20.0)			
		女	1 (0.0)				0 (0.0)			
	3	男	16 (6.3)				1 (6.3)			
		女	5 (0.0)				0 (0.0)			
	計	男	21 (9.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.5)			
		女	6 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)			
小 計		男	187 (59.9)	2 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	112 (59.9)	5 (4.5)		
		女	72 (55.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (12.5)	40 (55.6)	3 (7.5)		
合 計			259 (58.7)	2 (1.3)	0 (0.0)	5 (3.3)	152 (58.7)	8 (5.3)		

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

(2) 各科健康診断結果

大 学 (入学年次)

学部	性別	受検対象者数	受検者数 (%)	内科				眼科				耳鼻咽喉科						皮膚科								
				貧血	甲状腺腫	心雑音	不整脈	斜視	結膜炎	霰粒腫	麦粒腫	その他	慢性副鼻腔炎	慢性鼻炎	鼻中隔彎曲症	アレルギー	慢性扁桃炎	扁平疣	耳垢	その他	アトピー性皮膚炎	慢性湿疹	蕁麻疹	尋常性瘡癩	尋常性疣贅	毛孔性癬
人文社会科学部	男	137	127 (92.7)	1				1											7	3	1	11		1	3	
	女	134	133 (99.3)	5	4			2											5			6		2		
教育学部	男	78	76 (97.4)			3		1	1								1		1	2		4			2	1
	女	101	100 (99.0)	4	4														1	2		1				
医学部	男	119	118 (99.2)	3		3	1		2										8	4		3		1	2	
	女	197	197 (100.0)	8	6				2										6	4		3		3		1
理工学部	男	310	300 (96.8)			2	1		3																	
	女	56	55 (98.2)				3																			
農学生命科学部	男	130	130 (100.0)	2					1																	
	女	90	88 (97.8)																							
小計	男	774	751 (97.0)	6	0	8	2	1	6	2	0	0	1	0	0	0	1	0	28	13	1	21	0	2	5	3
	女	578	573 (99.1)	9	16	9	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14	6	1	11	0	5	0	1
合計		1,352	1,324 (97.9)	15	16	17	2	1	8	4	0	0	1	0	0	0	1	0	42	19	2	32	0	7	5	4

注) 空欄は該当者なし

(3) 心電図検査受検率及び結果

① 新入生

学 部	性 別	受検対象者数	受 検 者 数 (%)	要精査 (%)	要観察 (%)
人文社会科学部	男	137	117 (85.4)	3 (2.6)	2 (1.7)
	女	134	127 (94.8)	0 (0.0)	1 (0.8)
教育学部	男	78	72 (92.3)	2 (2.8)	3 (4.2)
	女	101	100 (99.0)	2 (2.0)	0 (0.0)
医学部 医学科	男	50	48 (96.0)	3 (6.3)	0 (0.0)
	女	62	59 (95.2)	0 (0.0)	3 (5.1)
医学部 保健学科	男	69	69 (100.0)	1 (1.4)	0 (0.0)
	女	135	134 (99.3)	2 (1.5)	1 (0.7)
理工学部	男	310	282 (91.0)	4 (1.4)	5 (1.8)
	女	56	54 (96.4)	1 (1.9)	3 (5.6)
農学生命 科学部	男	130	115 (88.5)	3 (2.6)	0 (0.0)
	女	90	85 (94.4)	1 (1.2)	1 (1.2)
小 計	男	774	703 (90.8)	16 (2.3)	10 (1.4)
	女	578	559 (96.7)	6 (1.1)	9 (1.6)
合 計		1,352	1,262 (93.3)	22 (1.7)	19 (1.5)

所見内訳 (のべ人数)

所 見	男	女
W P W 症 候 群	1	2
肺動脈性肺高血圧症		1
左 室 肥 大	1	1
右 室 肥 大	1	
Q T 延 長	1	
Q T 短 縮	1	
軸 偏 位	3	
心室期外収縮	2	2
上室期外収縮		1
補充収縮	1	
I度房室ブロック	7	4
II度房室ブロック		1
左脚ブロック	2	
完全右脚ブロック	2	
不完全右脚ブロック	2	1
洞 性 徐 脈	4	1
洞 性 頻 脈	1	
合 計	29	14

② 編入学生

学 部	性 別	受検対象者数	受 検 者 数 (%)	要精査 (%)	要観察 (%)
医学部医学科 (2年次編入)	男	15	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	5	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
医学部保健学科 (3年次編入)	男	0			
	女	1	0 (0.0)		
理工学部 (3年次編入)	男	3	0 (0.0)		
	女	2	1 (50.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
農学生命科学部 (3年次編入)	男	3	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
小 計	男	21	17 (81.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	9	7 (77.8)	1 (14.3)	0 (0.0)
合 計		30	24 (80.0)	1 (4.2)	0 (0.0)

所見内訳 (のべ人数)

所 見	男	女
心室期外収縮	0	1
合 計	0	1

(4) 学生特別定期健康診断（対象学生は病院実習とRI実験室に立ち入る学生）

① 対象学生・学部及び検査項目・実施時期・回数

対象学部・学年			検査項目	実施時期・回数
医学部	医学科	2年	末梢血・問診票	4月 1回
		4年（希望者）	B型肝炎関係検査（HBs抗原・抗体）	4月 1回
		4年（全員）	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体, 末梢血	1月 1回
	保健学科	全専攻 3年次編入学生	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4月 1回
		看護学 2年	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4月 1回
		検査技術科学 3年	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4月 1回
		放射線技術科学 2年	末梢血・問診票	10月 1回
		” 3年	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4月 1回
		” 3年	末梢血・問診票	4・10月 2回
		” 4年	末梢血・問診票	4・10月 2回
理学療法学・作業療法学 2年	GOT・GPT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	10月 1回		
医学部 理工学部 農学生命科学部 北日本新エネルギー研究所	RI取扱および放射線実習に関わる学部学生, 院生	末梢血・問診票	5・11月 2回	

② 学生特別定期健康診断受検率及び結果

病院実習

医学部 医学科

学 科	学 年	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能						末 梢 血								
					G O T		G P T		HBs 抗原	HBs 抗体	HCV 抗体	白 血 球 数 (/ μ l)			血 色 素 量 (g / dl)				
					38 U/L 以下	39 U/L 以上	44 U/L 以下	45 U/L 以上	陽性 者数	陽性 者数	陽性 者数	4000 未満	4000 ~ 10000 未満	10000 以上	女		男		
															10未満	10以上	11未満	11以上	
医学科	4	男女	83 40	83(100.0) 40(100.0)	78 39	5 1	70 40	13		57 30			1	83 37	2		40		83
合 計			123	123(100.0)	117	6	110	13		87			1	120	2		40		83

医学部 保健学科

専 攻	学 年	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能						
					G O T		G P T		HBs 抗原	HBs 抗体	HCV 抗体
					38 U/L 以下	39 U/L 以上	44 U/L 以下	45 U/L 以上	陽性 者数	陽性 者数	陽性 者数
看 護 学	2	男女	9 71	9 (100.0) 71 (100.0)	9 71		9 71			6 61	
	3 (編入生)	男女	0 0								
放 射 線 技 術 学	3	男女	25 15	25 (100.0) 15 (100.0)	25 15		22 15	3		15 7	
	3 (編入生)	男女	0 0								
検 査 技 術 学	3	男女	14 23	14 (100.0) 23 (100.0)	14 23		14 23			9 17	
	3 (編入生)	男女	0 1	1 (100.0)	1		1				
理 療 法 学	2	男女	10 11	10 (100.0) 11 (100.0)	10 11		9 11	1		7 6	
	3 (編入生)	男女	0 0								
作 業 法 学	2	男女	9 12	9 (100.0) 12 (100.0)	9 12		8 12	1		8 6	
	3 (編入生)	男女	0 0								
小 計			67 133	67 (100.0) 133 (100.0)	67 133	0 0	62 133	5 0	0 0	45 97	0 0
合 計			200	200 (100.0)	200	0	195	5	0	142	0

大学 R I 実験室立入実習室 末梢血・自覚症状および皮膚科（問診票）の検査

学部学科等		性別	第 1 回 目									
			受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	末 梢 血						自覚症状他 (問診票)	
					白血球数($10^3/\mu\text{l}$)			血色素量(g/dl)				
					4.00 未満	4.00 ~ 10.00 未満	10.00 以上	女		男		受 検 者 数 (%)
			10 未 満	10 以 上	11 未 満	11 以 上						
医 学 部	医 学 科 2 年	男	95	95 (100.0)	3	90	2				95	95 (100.0)
		女	56	56 (100.0)	1	54	1		56		56	56 (100.0)
	保健学科放射線 技術学科 3 年	男	25	25 (100.0)	2	22	1				25	25 (100.0)
		女	15	15 (100.0)	1	14			15		15	15 (100.0)
保健学科放射線 技術学科 4 年	男	27	27 (100.0)	2	25					27	27 (100.0)	
	女	15	15 (100.0)		14	1		15		15	15 (100.0)	
大 学 院	男	0										
	女	0										
保健学研究科	学生及び大学院	男	6	6 (100.0)		6					6	6 (100.0)
		女	2	2 (100.0)		2			2		2	2 (100.0)
理 工 学 部	学生及び大学院	男	25	25 (100.0)	1	23	1				25	25 (100.0)
		女	5	5 (100.0)		5			5		5	5 (100.0)
農 学 生 命 部 科 学 部	学生及び大学院	男	19	9 (47.4)		9					9	9 (47.4)
		女	6	4 (66.7)		4			4		4	4 (66.7)
小 計		男	197	187 (94.9)	8	175	4	0	0	0	187	187 (94.9)
		女	99	97 (98.0)	2	93	2	0	97	0	97	97 (98.0)
合 計			296	284 (95.9)	10	268	6	0	97	0	187	284 (95.9)

学部学科等		性別	第 2 回 目									
			受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	末 梢 血						自覚症状他 (問診票)	
					白血球数($10^3/\mu\text{l}$)			血色素量(g/dl)				
					4.00 未満	4.00 ~ 10.00 未満	10.00 以上	女		男		受 検 者 数 (%)
			10 未 満	10 以 上	11 未 満	11 以 上						
医 学 部	保健学科放射線 技術学科 2 年	男	22	22 (100.0)		22					22	22 (100.0)
		女	15	15 (100.0)		15			15		15	15 (100.0)
	保健学科放射線 技術学科 3 年	男	25	25 (100.0)		22	3				25	25 (100.0)
		女	15	15 (100.0)	2	11	2		15		15	15 (100.0)
保健学科放射線 技術学科 4 年	男	26	26 (100.0)	1	25					26	26 (100.0)	
	女	14	14 (100.0)	1	12	1		14		14	14 (100.0)	
大 学 院	男	0										
	女	0										
保健学研究科	学生及び大学院	男	5	5 (100.0)		5					5	5 (100.0)
		女	2	2 (100.0)		2			2		2	2 (100.0)
理 工 学 部	学生及び大学院	男	18	16 (88.9)		15	1				16	16 (88.9)
		女	7	7 (100.0)		7			7		7	7 (100.0)
農 学 生 命 部 科 学 部	学生及び大学院	男	17	13 (76.5)		12	1				13	13 (76.5)
		女	7	3 (42.9)		3			3		3	3 (42.9)
小 計		男	113	107 (94.7)	1	101	5	0	0	0	107	107 (94.7)
		女	60	56 (93.3)	3	50	3	0	56	0	56	56 (93.3)
合 計			173	163 (94.2)	4	151	8	0	56	0	107	163 (94.2)

4. 職員の健康診断

(1) 定期健康診断受検率及び結果

項目	部局名		事務局		人文社会科学部		教育学部		医学研究科		保健学研究科		附属病院		理工学研究科		農学生命科学部		小計		合計
	性	別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受検対象者			188	161	64	24	128	106	177	145	76	54	860	860	115	21	91	21	1,178	1,392	2,570
受検者総数(%)			183(97.3)	159(98.8)	54(84.4)	20(83.3)	125(97.7)	105(99.1)	177(100.0)	145(100.0)	76(100.0)	54(100.0)	860(100.0)	860(100.0)	108(93.9)	20(95.2)	82(90.1)	21(100.0)	1,144(97.1)	1,384(99.4)	2,528(98.4)
内 健診証明書提出者数	人間ドック・雇入時健診・ 健診証明書提出者数		21	9	4	2	13	13	18	6	6	3	7	7	15	4	3	1	95	45	140
	受検者(上記以外)		162	150	50	18	112	92	159	139	70	51	853	853	93	16	79	20	1,049	1,339	2,388
未検者			5(2.7)	2(1.2)	10(15.6)	4(16.7)	3(2.3)	1(0.9)	0	0	0	0	0	0	7(6.1)	1(4.8)	9(9.9)	0	34(2.9)	8(0.6)	42(1.6)
	保健管理センターでの受検者 (外注・人間ドック・雇入時健診 ・健診証明書提出者以外)		148	143	50	18	80	47	159	136	70	50	853	853	90	16	62	11	983	1,274	2,257
BMI	低体重(%)		1(0.7)	17(11.9)		3(16.7)	2(2.5)	5(10.6)	5(3.1)	15(11.0)		4(8.0)	10(3.1)	86(10.1)	2(2.2)	4(25.0)	2(3.2)	1(9.1)	22(2.2)	135(10.6)	157(7.0)
	普通体重(%)		87(58.8)	91(63.6)	37(74.0)	13(72.2)	48(60.0)	35(74.5)	93(58.5)	89(65.4)	46(65.7)	34(68.0)	204(63.0)	598(70.1)	54(60.0)	9(56.3)	39(62.9)	8(72.7)	608(61.9)	877(68.8)	1,485(65.8)
	肥満1度(%)		45(30.4)	27(18.9)	11(22.0)	2(11.1)	25(31.3)	4(8.5)	53(33.3)	26(19.1)	21(30.0)	7(14.0)	90(27.8)	106(12.4)	29(32.2)	3(18.8)	15(24.2)	2(18.2)	289(29.4)	177(13.9)	466(19.1)
	肥満2度(%)		13(8.8)	7(4.9)	2(4.0)		5(6.3)	2(4.3)	6(3.8)	6(4.4)	2(2.9)	3(6.0)	11(3.4)	34(4.0)	3(3.3)		5(8.1)		47(4.8)	52(4.1)	99(4.4)
肥満3度(%)			2(1.4)	1(0.7)					2(1.3)			1(2.0)	3(0.4)	2(0.2)		1(1.6)		17(1.7)	5(0.4)	22(1.0)	
	肥満4度(%)											1(2.0)	2(0.2)						2(0.2)	2(0.1)	
判定なし(妊娠中)							1(2.1)				1(2.0)		24(2.8)						26(2.0)	26(1.2)	
胸部 写真	要精検者数(%)		1(0.7)						3(1.9)	1(0.7)	1(1.4)								8(0.8)	5(0.4)	13(0.6)
	要精検者数(%)		3(2.0)	4(2.8)	1(2.0)		3(3.8)		6(3.8)	2(1.5)					2(2.2)				22(2.2)	28(2.2)	50(2.2)
尿 糖 検査	要精検者数(%)		6(4.1)	3(2.1)	0(0.0)		3(3.8)		14(8.8)	8(5.9)	10(14.3)	1(2.0)			4(4.4)				56(5.7)	37(2.9)	93(4.1)
	要精検者数(%)		6(4.1)	5(3.5)	2(4.0)	2(11.1)	4(5.0)	6(12.8)	7(4.4)	9(6.6)	2(2.9)	2(4.0)	4(1.2)	50(5.9)	4(4.4)		4(6.5)	1(9.1)	33(3.4)	75(5.9)	108(4.8)
血 圧 測定	要精検者数(%)		64(43.2)	27(18.9)	25(50.0)	1(5.6)	34(42.5)	11(23.4)	62(39.0)	26(19.1)	31(44.3)	15(30.0)	74(22.8)	98(11.5)	34(37.8)	2(12.5)	30(48.4)	3(27.3)	354(36.0)	183(14.4)	537(23.8)
	要精検者数(%)		8(5.4)	1(0.7)	2(4.0)		4(5.0)	3(4.4)	7(4.4)	5(3.7)	3(4.3)	1(2.0)	6(0.7)		2(2.2)		9(14.5)		44(4.5)	16(1.3)	60(2.7)
視 力 測定	要指導者数(%)		42(28.4)	46(32.2)	20(40.0)	2(11.1)	24(30.0)	12(25.5)	38(23.9)	46(33.8)	16(22.9)	16(32.0)	51(15.7)	218(25.6)	13(14.4)	2(12.5)	19(30.6)	3(27.3)	223(22.7)	345(27.1)	568(25.2)
	要指導者数(%)		11(7.4)	3(2.1)	7(14.0)		9(11.3)	1(2.1)	4(2.5)	4(2.9)	4(5.7)	2(4.0)	6(1.9)	21(2.5)	2(2.2)		2(3.2)		45(4.6)	31(2.4)	76(3.4)

注) 空欄は該当者なし

(2) 生活習慣病健診

心電図検査

(35歳と40歳以上)

所見内訳 (のべ人数)

部 局 名	性別	受検対象者数		受 検 者 数 (%)		有 所 見 者 数 (%)		所 見	男	女
		男	女	受 検 者	数 (%)	有 所 見 者	数 (%)			
事 務 局	男	133		99	(74.4)	23	(23.2)	心 筋 障 害	22	21
	女	95		82	(86.3)	11	(13.4)	心 室 肥 大	1	
人文社会科学部	男	52		41	(78.8)	9	(22.0)	心 房 細 動	2	
	女	16		12	(75.0)	1	(8.3)	W P W 症 候 群	2	1
教 育 学 部	男	97		62	(63.9)	17	(27.4)	Q T 延 長		1
	女	84		35	(41.7)	5	(14.3)	心 室 期 外 収 縮	8	8
医 学 研 究 科	男	139		120	(86.3)	28	(23.3)	上 室 期 外 収 縮	6	8
	女	89		82	(92.1)	9	(11.0)	完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	13	4
保 健 学 研 究 科	男	53		44	(83.0)	1	(2.3)	不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	3	2
	女	39		37	(94.9)	4	(10.8)	心 室 内 伝 導 異 常	6	
医学部附属病院	男	132		121	(91.7)	17	(14.0)	I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	13	4
	女	366		349	(95.4)	31	(8.9)	左 脚 前 肢 ブ ロ ッ ク		1
理 工 学 研 究 科	男	92		71	(77.2)	8	(11.3)	洞 性 徐 脈	19	5
	女	14		12	(85.7)	1	(8.3)	洞 性 頻 脈	4	
農 学 生 命 科 学 部	男	72		49	(68.1)	10	(20.4)	Q R S 軸 の 異 常	11	4
	女	14		8	(57.1)	0	(0.0)	P 波 の 異 常	1	1
小 計	男	770		607	(78.8)	113	(18.6)	T 波 異 常	1	
	女	717		617	(86.1)	62	(10.0)	a V F ; 異 常 Q 波	1	
合 計	1,487			1,224	(82.3)	175	(14.3)	左 軸 偏 位	2	4
				1,436	(96.6)			合 計	115	64

注) 空欄は該当者なし

職員 肝機能・血中脂質・血糖・貧血検査

(35歳, 40歳以上)

部 局 名	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能 判 定				血 中 脂 質 判 定					糖 代 謝 判 定				貧 血 判 定			
				GOT, GPT, γ -GTP				TG, HDL-C, LDL-C					BS				RBC, Hb			
				※※ A	C	D	E	A	B	C	D	E	A	C	D	E	A	C	D	E
事 務 局 ※	男	133	100 (75.2)	53	32	11	4	42	15	26	9	8	85	7	0	8	89	11	0	0
	女	95	82 (86.3)	64	15	3	0	52	13	12	5	0	79	2	0	1	73	6	2	1
人 文 社 会 学 部	男	52	41 (78.8)	31	5	5	0	20	9	8	4	0	38	1	0	2	40	1	0	0
	女	16	12 (75.0)	10	2	0	0	10	1	1	0	0	12	0	0	0	10	1	1	0
教 育 学 部	男	97	61 (62.9)	36	18	7	0	39	11	2	8	1	56	3	0	2	56	4	0	1
	女	84	35 (41.7)	28	5	1	1	25	3	3	2	2	35	0	0	0	33	1	1	0
医 学 研 究 科	男	139	119 (85.6)	70	29	17	3	63	14	23	9	10	107	6	2	4	111	8	0	0
	女	89	81 (91.0)	64	15	2	0	59	8	5	6	3	79	1	0	1	75	3	2	1
保 健 学 研 究 科	男	53	44 (83.0)	17	17	9	1	23	9	5	5	2	39	3	0	2	38	6	0	0
	女	39	37 (94.9)	29	7	0	1	27	2	5	2	1	35	2	0	0	34	2	1	0
附 属 病 院	男	132	122 (92.4)	66	38	16	2	59	19	30	11	3	110	2	2	8	116	6	0	0
	女	366	349 (95.4)	278	54	13	4	254	31	40	16	8	328	11	0	10	319	27	2	1
理 工 学 部	男	92	71 (77.2)	44	19	7	1	42	5	13	9	2	57	11	0	3	64	7	0	0
	女	14	12 (85.7)	11	1	0	0	8	2	2	0	0	11	1	0	0	10	1	0	1
農 学 生 命 学 部	男	72	49 (68.1)	33	10	5	1	22	11	12	3	1	41	4	1	3	44	5	0	0
	女	14	8 (57.1)	7	0	1	0	6	0	1	1	0	8	0	0	0	7	1	0	0
小 計	男	770	607 (78.8)	350	168	77	12	310	93	119	58	27	533	37	5	32	558	48	0	1
	女	717	616 (85.9)	491	99	20	6	441	60	69	32	14	587	17	0	12	561	42	9	4
合 計		1,487	1,223 (82.2)	841	267	97	18	751	153	188	90	41	1,120	54	5	44	1,119	90	9	5
			1,437 (96.6)	外注, 人間ドック, 雇入時等含む																

※ : 学内共同教育研究施設を含む

※※ : A ; 正常, B ; 要指導, C ; 要再検, D ; 要精査, E ; 治療中

特定健診

(40歳以上75歳未満)

部 局 名	性別	受検対象者数	受検者数 (%)	腹 囲 (%) 男性:85cm以上 女性:90cm以上	特定保健指導		
					積 極 的 支 援 レベルの対象者	動 機 付 け 支 援 レベルの対象者	情 報 提 供 レベルの対象者
事 務 局	男	130	124 (95.4)	71 (57.3)	58	14	52
	女	92	86 (93.5)	3 (3.5)	8	12	66
人文社会科学部	男	51	39 (76.5)	19 (48.7)	12	6	21
	女	15	11 (73.3)	1 (9.1)	0	0	11
教 育 学 部	男	92	90 (97.8)	45 (50.0)	28	11	51
	女	81	80 (98.8)	10 (12.5)	4	11	65
医 学 研 究 科	男	133	130 (97.7)	61 (46.9)	38	22	70
	女	83	82 (98.8)	11 (13.4)	1	14	67
保 健 学 研 究 科	男	47	46 (97.9)	22 (47.8)	19	4	23
	女	36	36 (100.0)	10 (27.8)	3	4	29
医学部附属病院	男	123	121 (98.4)	73 (60.3)	46	19	56
	女	348	346 (99.4)	47 (13.6)	22	42	282
理 工 学 研 究 科	男	91	80 (87.9)	37 (46.3)	23	10	47
	女	14	13 (92.9)	2 (15.4)	1	1	11
農学生命科学部	男	72	59 (81.9)	29 (49.2)	22	5	32
	女	11	11 (100.0)	1 (9.1)	1	1	9
小 計	男	739	689 (93.2)	357 (51.8)	246	91	352
	女	680	665 (97.8)	85 (12.8)	40	85	540
合 計		1,419	1,354 (95.4)	442 (32.6)	286	176	892

【血糖に関する項目】

空腹時血糖100mg/dl以上または薬物治療中

【脂質に関する項目】

中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満または薬物治療中

【血圧に関する項目】

収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上または薬物治療中

胃検診（胃がんリスク検診）

（40歳以上）

部 局 名	性別	受検対象者数	受検者数	(%)	有 所 見者数	(%)
事 務 局	男	130	2	(1.5)	2	(66.7)
	女	92	3	(3.3)		
人文社会科学部	男	51	1	(2.0)	1	(100.0)
	女	15	1	(6.7)		
教 育 学 部	男	92	5	(5.4)	3	(60.0)
	女	81	12	(14.8)		
医学研究科	男	133	2	(1.5)		
	女	83	7	(8.4)		
保健学研究科	男	47	1	(2.1)	1	(100.0)
	女	36	2	(5.6)		
医学部附属病院	男	123	6	(4.9)	3	(50.0)
	女	348	18	(5.2)		
理工学研究科	男	91	0	(0.0)		
	女	14	1	(7.1)		
農学生命科学部	男	72	1	(1.4)		
	女	11	0	(0.0)		
小 計	男	739	18	(2.4)	8	(44.4)
	女	680	44	(6.5)		
合 計		1,419	62	(4.4)	18	(29.0)

※受検者は40歳以上で胃がんリスク検診をうけたことのない希望者

ABC分類

部 局 名	性別	受検者数	A	B	C	D	その他
事 務 局	男	2	2				
	女	3	1	1	1		
人文社会科学部	男	1					1
	女	1	1				
教 育 学 部	男	5	2		1		2
	女	12	9		1		2
医学研究科	男	2	2				
	女	7	7				
保健学研究科	男	1			1		
	女	2	2				
医学部附属病院	男	6	3		1		2
	女	18	13	1	4		
理工学研究科	男	0					
	女	1	1				
農学生命科学部	男	1	1				
	女	0					
小 計	男	18	10	0	3	0	5
	女	44	34	2	6	0	2
合 計		62	44	2	9	0	7

便潜血（便中Hb）検査

(40歳以上)

部 局 名	性別	受検対象者数	受 検 者 数	(%)	陽 性 者 数	(%)
事 務 局	男	130	28	(21.5)	1	(3.6)
	女	92	11	(12.0)	1	(9.1)
人 文 社 会 科 学 部	男	51	10	(19.6)	1	(33.3)
	女	15	3	(20.0)		
教 育 学 部	男	92	24	(26.1)	1	(4.2)
	女	81	14	(17.3)	1	(7.1)
医 学 研 究 科	男	133	43	(32.3)	4	(9.3)
	女	83	20	(24.1)	2	(10.0)
保 健 学 研 究 科	男	47	14	(29.8)	3	(21.4)
	女	36	12	(33.3)	1	(8.3)
医 学 部 附 属 病 院	男	123	18	(14.6)	3	(16.7)
	女	348	54	(15.5)	4	(7.4)
理 工 学 研 究 科	男	91	18	(19.8)		
	女	14	1	(7.1)		
農 学 生 命 科 学 部	男	72	14	(19.4)		
	女	11	0	(0.0)		
小 計	男	739	169	(22.9)	12	(7.1)
	女	680	115	(16.9)	10	(8.7)
合 計		1,419	284	(20.0)	22	(7.7)

肺がん検診

(40歳以上)

部 局 名	性別	対象者数	問診票 提出者数 (%)	喀痰検診 対象者数 (%)
事 務 局	男	130	130 (100.0)	20 (15.4)
	女	92	88 (95.7)	
人 文 社 会 科 学 部	男	51	40 (78.4)	3 (7.5)
	女	15	13 (86.7)	1 (7.7)
教 育 学 部	男	92	92 (100.0)	11 (12.0)
	女	81	80 (98.8)	
医 学 研 究 科	男	133	133 (100.0)	9 (6.8)
	女	83	81 (97.6)	1 (1.2)
保 健 学 研 究 科	男	47	41 (87.2)	4 (9.8)
	女	36	33 (91.7)	
医 学 部 附 属 病 院	男	123	123 (100.0)	5 (4.1)
	女	348	345 (99.1)	1 (0.3)
理 工 学 研 究 科	男	91	90 (98.9)	8 (8.9)
	女	14	13 (92.9)	
農 学 生 命 科 学 部	男	72	70 (97.2)	7 (10.0)
	女	11	10 (90.9)	
小 計	男	739	719 (97.3)	67 (9.3)
	女	680	663 (97.5)	3 (0.5)
合 計		1,419	1,382 (97.4)	70 (5.1)

子宮頸癌・卵巣癌検診受検状況

(全女子職員)

子宮頸部細胞診

部 局 名	受検対象者数	受検者数 (%)
事 務 局	161	12 (7.5)
人 文 社 会 科 学 部	24	3 (12.5)
教 育 学 部	107	11 (10.3)
医 学 研 究 科	145	13 (9.0)
保 健 学 研 究 科	54	5 (9.3)
医 学 部 附 属 病 院	860	12 (1.4)
理 工 学 研 究 科	21	0 (0.0)
農 学 生 命 科 学 部	21	1 (4.8)
合 計	1,393	57 (4.1)

クラス分類	ベセスダ分類
異常なし 56	異常なし 55
要精査 1	要精査 2

卵巣癌検診

異常なし	54
経過観察	0
要精査	3

(3) 特別定期健康診断受検率及び結果

① 特定業務従事者(深夜業務従事者, 病原体・ホルムアルデヒド・エチレンオキシドを扱う業務従事者)

春 期

受検対象者	受検者数(%)	血圧測定		尿検査			視力測定		聴力測定 日常生活や 就労に支障 なし
		受検者数	要観察数(%)	受検者数	有所見者数		受検者数	要指導 (%)	
					糖(%)	蛋白(%)			
537	537 (100.0)	537	51 (9.5)	537	22 (4.1)	20 (3.7)	537	120 (22.3)	537

② VDT作業従事者

受検対象者	受検者数 (問診票) (%)	作業区分人数 (%)	視力測定 該当者数	視力測定 受検者数 (%)	結 果 指導あり	
2,459	2,459 (100.0)	A	64 (2.6)	64	21 (32.8)	7
		B	1,669 (67.9)	33	16 (48.5)	7
		C	725 (29.5)	—	—	—
合 計		2,458 (100.0)	97	37 (38.1)	14	

③ 特殊健康診断結果

春 期

		放 射 線	鉛	有 機 リ ン	有 機 溶 剤	特 化 物
文京地区	対象者数	27	0	19	71	42
	受検者数	27	0	19	71	42
	未検者数	0	0	0	0	0
本町地区	対象者数	505	1	0	104	60
	受検者数	505	1	0	104	60
	未検者数	0	0	0	0	0
青森キャンパス	対象者数	3	2	0	3	3
	受検者数	3	2	0	3	3
	未検者数	0	0	0	0	0
合 計	対象者数	535	3	19	178	105
	受検者数	535	3	19	178	105
	未検者数	0	0	0	0	0

秋 期

		放 射 線	鉛	有 機 リ ン	有 機 溶 剤	特 化 物
文京地区	対象者数	26	2	3	61	44
	受検者数	26	2	3	61	44
	未検者数	0	0	0	0	0
本町地区	対象者数	492	1	0	103	59
	受検者数	492	1	0	103	59
	未検者数	0	0	0	0	0
青森キャンパス	対象者数	3	2	0	3	3
	受検者数	3	2	0	3	3
	未検者数	0	0	0	0	0
合 計	対象者数	521	5	3	167	106
	受検者数	521	5	3	167	106
	未検者数	0	0	0	0	0

(4) ストレスチェック結果

部局名	対象職員	受検者	回答率	高ストレス者	高ストレス者率	産業医との面接実施	
						全 体	報告無
文京町地区小計	886	774	87.4%	74	9.6%	10	(4)
本町地区小計	1,654	1,425	86.2%	179	12.6%	6	(0)
総 計	2,540	2,199	86.6%	253	11.5%	16	(4)

(内数)

5. 教育学部附属学校定期健康診断受検状況

尿検査

学 校 名	性 別	受 検 对 象 者 数	受 検 者 数 (%)
小 学 校	男	268	268 (100.0)
	女	284	284 (100.0)
中 学 校	男	243	241 (99.2)
	女	243	240 (98.8)
特 别 支 援 学 校	男	39	39 (100.0)
	女	15	15 (100.0)
幼 稚 園	男	33	32 (97.0)
	女	42	41 (97.6)
小 計	男	583	580 (99.5)
	女	584	580 (99.3)
合 計		1,167	1,160 (99.4)

心電図検査

学 校 名	性 別	受 検 对 象 者 数	受 検 者 数 (%)
小学校1年生	男	39	39 (100.0)
	女	45	45 (100.0)
中学校1年生	男	81	81 (100.0)
	女	80	79 (98.8)
特别支援学校1年生 (小学部・中学部・高等部)	男	10	10 (100.0)
	女	3	3 (100.0)
小 計	男	130	130 (100.0)
	女	128	127 (99.2)
合 計		258	257 (99.6)

6. 保健管理センター月別利用状況

学 生

月別	疾患別 性別	外科系								内科系						検査項目				その他		合計	備考
		創傷	捻挫	打撲	刺傷	熱傷	皮膚疾患	眼科疾患	耳鼻咽喉疾患	その他	呼吸器疾患	消化器疾患	運動器疾患	泌尿器疾患	中毒	その他	血圧測定	心電図	尿検査	X線	健康診断証明書		
4月	男	1							1			1			1					339		343 335	外科系及び内科系の その他の欄は健康相 談の件数。 *定期心電図対象は 大学学部新入生およ び附属学校1年生 小学校1年 男 39名 女 45名 中学校1年 男 81名 女 79名 特別支援学校 (小1・中1・高1) 男 10名 女 3名
	女	2	1			1			1						4					324			
5月	男	5	2	1							2				8					367			
	女	1		1					1	1	2	1		11	1					227		385 246	
6月	男	1	1	1		1				4					26					178	720		
	女	2		1	1				1	1	1	2		25	4					116	566	932 721	
7月	男	1								2					12	3				161			
	女		1							1	1	3		17	6					120		180 149	
8月	男									1		1			2					48			
	女														1					48		53 49	
9月	男	1		2											2					39			
	女					1			1						2					36		46 38	
10月	男	1	2							1	2				2					10			
	女	3	1	2					2	1					7					18		18 34	
11月	男		2							1					2	1				11			
	女	1				1		1	1						2					8		19 15	
12月	男	1													1					10			
	女	1				1									5	1				6		12 14	
1月	男	1													2					9			
	女	1								2		1			3	2				10		12 19	
2月	男														2					14			
	女	1							1											13		16 15	
3月	男			1											2					129			
	女										1				1					85		132 87	
小計	男	12	7	5	0	1	2	1	0	3	9	4	2	1	0	62	4	0	0	0	1,315	720	
	女	12	3	4	1	3	1	0	3	4	6	7	8	1	0	78	14	0	0	0	1,011	566	2,148 1,722
合計		24	10	9	1	4	3	1	3	7	15	11	10	2	0	140	18	0	0	0	2,326	1,286	3,870

職 員

月別	疾患別性別	外科系							内科系							検査項目				その他			合計	備考	
		創傷	捻挫	打撲傷	刺傷	熱傷	皮膚疾患	眼科疾患	耳鼻咽喉疾患	その他	呼吸器疾患	消化器疾患	運動器疾患	泌尿器疾患	中毒	その他	血圧測定	心電図	尿検査	X線	胃検診(ABC検診)	便中Hb			定期心電図
4月	男女								1															1	外科系及び内科系のその他の欄は、健康相談の件数。
5月	男女	1																					0		
6月	男女									1	1				1	1							3		
7月	男女	1													2							314	317		
8月	男女		1	1											1							142	145		
9月	男女																					289	289		
10月	男女											1			5						169		174		
11月	男女									2	1				1								4		
12月	男女		1							1	1				3							18	18		
1月	男女															1							2		
2月	男女																						1		
3月	男女														1								2		
小計	男女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	11	0	0	0	0	18	169	603	806		
	男女	2	1	2	0	0	2	0	0	3	2	1	0	0	15	0	0	0	0	44	115	638	825		
合計		3	1	2	0	0	2	0	1	3	4	2	0	0	26	0	0	0	0	62	284	1,241	1,631		

月別医療機関紹介状数（学生・職員）

月	男	女	総数
4月	1	3	4
5月	6	6	12
6月	11	10	21
7月	12	10	22
8月	4	0	4
9月	4	1	5
10月	9	12	21
11月	4	3	7
12月	0	1	1
1月	1	1	2
2月	1	0	1
3月	2	0	2
計	55	47	102

Ⅲ 平成29年度カウンセリング報告

平成29年度カウンセラー業務等報告

平成29年度は、専任カウンセラー田名場美雪・高橋恵子、および非常勤カウンセラー浅原奈苗（学外）で保健管理センターの相談活動にあたった。文京キャンパスのほか、医学部本町キャンパスにおける相談活動（週一回4時間）、および附属学校園において週一回4時間の相談活動を実施した。

（文責：高橋恵子）

1. 月別利用状況（上段は事例数，下段は面接延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
学部生	24 (47)	19 (53)	14 (53)	15 (42)	9 (29)	9 (26)	8 (34)	11 (36)	14 (43)	8 (37)	7 (30)	7 (31)	145 (461)
学部留年生	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (6)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (21)
大学院生	2 (4)	0 (4)	2 (5)	2 (7)	0 (5)	3 (10)	3 (8)	1 (6)	1 (3)	1 (4)	0 (4)	2 (8)	17 (68)
その他学生	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
卒業生	4 (13)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (0)	1 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	6 (24)
家族等	4 (5)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	2 (5)	0 (1)	1 (3)	1 (1)	3 (3)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	20 (28)
教職員	7 (11)	1 (3)	1 (4)	3 (8)	2 (4)	1 (3)	3 (7)	2 (4)	6 (6)	4 (6)	3 (8)	2 (9)	35 (73)
教職員の家族等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
附属学校園	1 (1)	2 (2)	1 (2)	3 (6)	0 (0)	2 (2)	1 (10)	1 (6)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (2)	11 (38)
新規事例数合計	43	22	22	24	13	15	16	17	25	17	12	11	237
面接延べ数合計	(83)	(66)	(69)	(70)	(43)	(47)	(65)	(58)	(62)	(54)	(48)	(50)	(715)

2. 主問題別事例数・面接延べ数

1) 学部生・留年学部生・大学院生・その他学生・卒業生からの相談内容

	精神疾患	性格・心理・行動	生活全般	進路	学業	対人関係	コンサルテーション	計
人文	4 (25)	14 (42)	7 (11)	1 (4)	3 (11)	2 (10)	4 (10)	35 (113)
教育	3 (15)	14 (55)	5 (10)	5 (6)	3 (6)	2 (8)	6 (10)	38 (110)
理工	3 (10)	16 (84)	6 (10)	3 (9)	2 (3)	6 (28)	0 (0)	36 (144)
医	0 (0)	8 (42)	3 (7)	2 (5)	5 (29)	3 (6)	1 (2)	22 (91)
農生	3 (7)	13 (54)	6 (7)	3 (7)	4 (7)	11 (36)	0 (0)	40 (118)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
新規事例数合計	13	65	27	14	17	24	11	171
面接延べ数合計	(57)	(277)	(45)	(31)	(56)	(88)	(22)	(576)

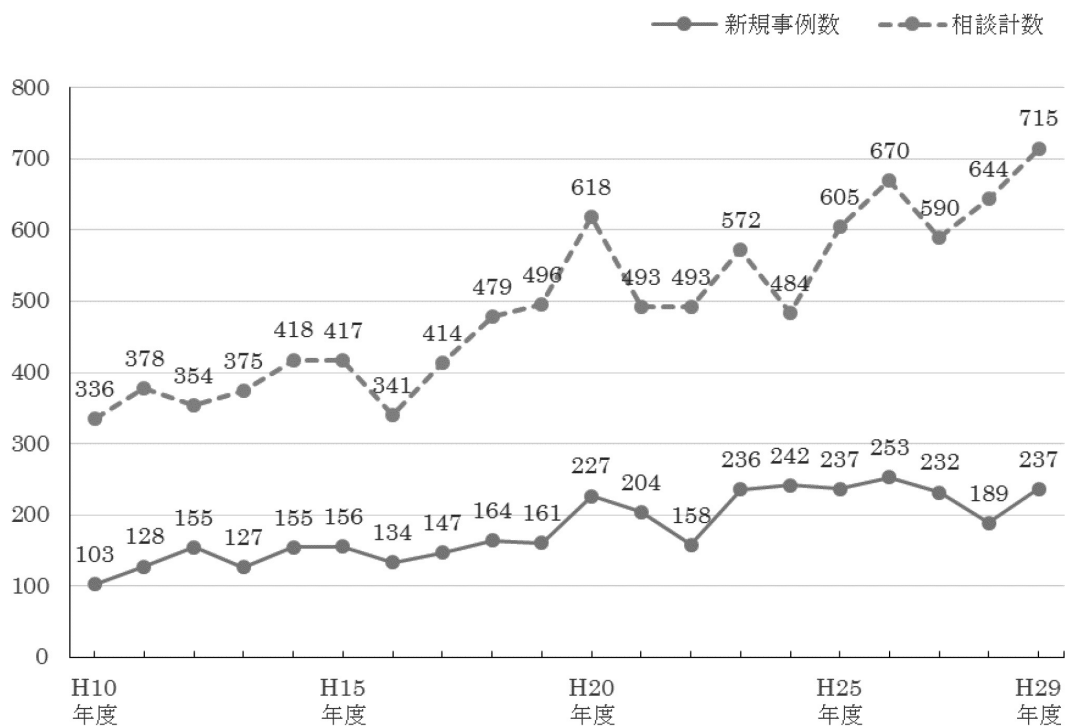
2) 教職員からの相談内容

相談内容	事例数	延べ件数
学生についてのコンサルテーション	20	(36)
教職員についてのコンサルテーション	4	(8)
心身の健康問題	7	(19)
対人関係	4	(10)
その他	0	(0)
合計	36	(74)

3. 相談形態ごとの相談件数

形態	面談	メール	電話	手紙	合計
相談件数	563	90	60	2	715

4. 平成10年度以降の利用状況推移



IV 保健管理センター概況

保健管理センター概況 (平成29年7月1日現在)

(1) 保健管理センター運営委員会

委員長	高梨信吾	(保健管理センター所長・教授)
委員	白戸壮一郎	(人文社会科学部講師)
〃	太田誠耕	(教育学部教授)
〃	加藤博之	(大学院医学研究科教授)
〃	五十嵐世津子	(保健学研究科准教授)
〃	鷺坂将伸	(理工学研究科准教授)
〃	坂元君年	(農学生命科学部准教授)
〃	萱場広之	(医学部附属病院検査部長・教授)
〃	土井正人	(学務部学生課長)
〃	青木昌彦	(医学部附属病院放射線部長・教授)
〃	庄司聡	(総務部人事課長)
〃	大平隆人	(施設環境部環境安全課長)

(2) 職員

所長	高梨信吾	教授
カウンセラー	田名場美雪	准教授
カウンセラー	高橋恵子	講師
看護師	工藤誓子	
〃	嘉山恵子	
〃	齋藤幸子	
保健管理担当	小山内英子	係長
臨床検査技師	檜木英子	
検査助手	相馬亜妃子	
事務補佐員	中川朝加	

主任学校医	(内科)	福田眞作	医学部附属病院長
学校医	(内科)	佐藤研	医学部附属病院講師
〃	(〃)	富田泰史	大学院医学研究科教授
〃	(〃)	蔭山和則	大学院医学研究科准教授
〃	(〃)	高梨信吾	保健管理センター所長
〃	(神経精神科)	中村和彦	大学院医学研究科教授
〃	(眼科)	目時友美	医学部附属病院講師
〃	(耳鼻咽喉科)	佐々木亮	大学院医学研究科准教授
〃	(皮膚科)	松崎康司	医学部附属病院講師
〃	(整形外科)	和田簡一郎	医学部附属病院講師
〃	(外科)	石戸圭之輔	大学院医学研究科准教授
〃	(小児科)	敦賀和志	大学院医学研究科助教
学校歯科医		久保田耕世	医学部附属病院講師
学校薬剤師		磯木雄之輔	弘前市薬剤師会(学外)
〃		磯木富貴子	〃
兼務職員		横山昂生	医学部附属病院診療放射線技師
学外カウンセラー		浅原奈苗	

V 衛生管理者等名簿

安全衛生管理者等名簿

平成29年9月1日現在

【文京町地区】

総括安全衛生管理者

	職 名	氏 名	担当部局等
	理事	加 藤 健	—

衛生工学衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	理工学研究科	技術職員	藤 寄 里 美	理工学研究科
	合 計			1

衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	保健管理センター	看護師	工 藤 誓 子	保健管理センター
2	施設環境部	専任衛生管理者 係長	畠 山 清 孝	事務局
3	学務部教務課	係長	工 藤 良 子	学務部（総合教育棟等）
4	学務部入試課	係長	鎌 田 貴 己	学務部（総合教育棟等）
5	学務部学生課	調理師	小 林 直 美	学務部（学生寄宿舍）
6	教育学部	教授	葛 西 敦 子	教育学部
7	教育学部	教授	安 川 あけみ	教育学部
8	教育学部（附属幼稚園）	養護教諭	大 高 景 子	附属幼稚園・附属小学校
9	教育学部（附属中学校）	養護教諭	森 菜穂子	附属中学校
10	教育学部（附属特別支援学校）	養護教諭	丹 代 菜 々	附属特別支援学校
11	人文社会科学部	係長	福 眞 吉 教	人文社会科学部
12	理工学研究科	技術職員	佐 藤 勝 人	理工学研究科
13	理工学研究科	技術職員	堀 井 智 実	理工学研究科
14	農学生命科学部	技術職員	對 馬 優 聖	農学生命科学部
15	農学生命科学部	准教授	本 多 和 茂	農学生命科学部
16	農学生命科学部	助教	金 児 雄	農学生命科学部
17	農学生命科学部	助教	吉 田 涉	農学生命科学部
18	農学生命科学部	技術職員	齊 藤 司	農学生命科学部
19	研究推進部	係長	成 田 和 香	白神自然環境研究所・生涯学習教育研究センター・機器分析センター等
20	附属図書館	係長	長谷川 友 紀	附属図書館・総合情報処理センター・資料館等
21	青森キャンパス	主任	板 垣 学	北日本新エネルギー研究所・食料科学研究所
	合 計			21

※理工学研究科においては衛生管理者を取得次第追加（当面は3名体制で実施する）

産 業 医

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	保健管理センター	専属産業医 保健管理センター所長	高 梨 信 吾	—
2	教育学部	教授	田 中 完	—
	合 計			2

平成29年9月1日現在

【本町地区】

総括安全衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
	附属病院	附属病院長	福 田 眞 作	—

衛生工学衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	附属病院	専任衛生管理者 主任診療放射線技師	檜 木 聡	附属病院（中央診療棟）
	合 計			1

衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	大学院医学研究科	教授	鬼 島 宏	基礎校舎・図書分館
2	大学院医学研究科	助手	廣 瀬 昌 平	基礎校舎・図書分館
3	大学院医学研究科	教授	伊 東 健	附属脳神経血管病態研究施設
4	大学院医学研究科	助教	成 田 浩 司	附属動物実験施設
5	大学院医学研究科	講師	米 山 高 弘	臨床研究棟
6	大学院医学研究科	助教	大 鹿 周 佐	臨床研究棟
7	大学院医学研究科	准教授	石 戸 圭之輔	附属病院（第一病棟）
8	附属病院	准教授	平 林 健	附属病院（第一病棟）
9	附属病院	講師	久保田 耕 世	附属病院（第二病棟）
10	附属病院	助教	武 田 育 子	附属病院（第二病棟）
11	附属病院	助教	工 藤 隆 司	附属病院（外来診療棟）
12	附属病院	講師	奈良岡 征 都	附属病院（外来診療棟）
13	大学院医学研究科	助教	齋 藤 百合子	附属病院（外来診療棟）
14	附属病院	准教授	加 藤 哲 子	附属病院（中央診療棟）
15	附属病院	助教	大 谷 勝 記	附属病院（中央診療棟）
16	大学院医学研究科	助教	矢 口 慎 也	附属病院（高度救命救急センター）
17	アイソトープ総合実験室	技術職員	齋 藤 美 希	アイソトープ総合実験室
18	大学院保健学研究科	教授	敦 賀 英 知	大学院保健学研究科
19	大学院保健学研究科	主任	鈴 木 亮	大学院保健学研究科
20	被ばく医療総合研究所	事務室長	山 口 富 雄	被ばく医療総合研究所
21	施設環境部本町地区施設室	係長	會 津 利 幸	エネルギーセンター
	合 計			21

産 業 医

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	大学院保健学研究科	教授	樋 口 毅	—
2	大学院医学研究科/附属病院	専属産業医	伊 藤 磨 矢	—
	合 計			2

編集後記

今年も様々なケースと出逢いました。ポスト平成という新たな年号を迎えようとする今、時代の転換点を越えようとしています。その峠の向こうにはどんな世界が待っているのでしょうか。

目まぐるしく遷り変わる時代、未来を創る若い世代の生き方にとっても、それはまた試練の時と思われれます。一つひとつの挫折や体験の積み重ね、悩むことが当然ともいえる大学時代。効率性とは一見相矛盾する時間ですがそうと知らなければ、自分だけが何かおかしな世界に迷い込んだと思うかもしれません。

情報化時代、知識はどんどん古くなり使い捨てられる時代。時にそんな無機質さが心を傷めます。しかし鈍感さに慣れてしまえば、心の喪失も免れません。その感性を守り育て、また時機を待つことができるのも保健管理センターの役割なのかと思われれます。

世界がどんなにグローバル化されても、人の心に映し出されるひとつひとつの真実があります。“一人ひとりの悩みが世界を救う。”その光が未来を照らし、希望を繋ぐ力と信じて、今日も地道な一歩を歩みます。

日頃の保健管理センターへのご支援ご厚情に感謝しますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願いいたします。

(高橋 恵子)

弘前大学保健管理概要

39号

平成30年

発行編集者 弘前大学保健管理センター
弘前市文京町1
TEL (0172) 39-3128

印刷 株式会社 笹 軽印刷
弘前市本町76-2
TEL 32-7530
